

消 防 年 報

令和元年（2019年）版



宇部・山陽小野田消防局

令和2年刊行

は し が き

この消防年報は、宇部・山陽小野田消防局の消防現勢及び令和元年（1月から12月まで）中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、編集資料について、組織・予算・予防・施設に関するものは令和2年4月1日、火災・救急・救助等に関するものは令和元年12月末日をもって編集しました。

この年報が消防関係者はもとより、広くあらゆる方面で御活用いただき、本消防局に対する御理解を深めていただければ幸いです。

令和2年8月

宇部・山陽小野田消防局

目 次

管 内 概 況

1	管内の概要	3
2	構成市の位置図	3
3	第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画	4
4	消防の沿革	5
	(1) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革	5
	(2) 宇部市消防の沿革	7
	(3) 小野田市消防の沿革	10
	(4) 山陽町消防の沿革	12
	(5) 山陽小野田市消防の沿革	13
5	歴代消防長	14
6	過去の主な災害等	16
	(1) 宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録	16
	(2) 宇部市の主な火災記録	16
	(3) 旧小野田市の主な火災記録	17
	(4) 旧山陽町の主な火災記録	17
	(5) 山陽小野田市の主な火災記録	18
	(6) 宇部・山陽小野田地区における自然災害	18
7	応援協定等締結状況	19

総 務

1	宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務	23
2	消防局・消防署職員配置表	25
3	消防職員階級別年齢	28
4	消防職員階級別勤続年数	28
5	職員研修状況	29
6	特殊技能・技術資格者	30
7	消防予算	31
8	消防庁舎	33

予 防

1	防火対象物	37
	(1) 棟数及び立入検査	37
	(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況	38
2	建築確認同意処理件数	39
3	防火管理者選任状況	40
4	危険物施設設置状況	41
5	危険物許認可状況	42
6	危険物施設の現況及び立入検査状況	43
7	宇部・小野田地区特別防災区域	44

(1) 宇部市	44
(2) 山陽小野田市	45
8 火薬類取締法関係処理状況	47
9 消防協力団体の現況	48

警 防

1 消防配置図	53
2 消防車両	54
3 消防水利	57
(1) 消火栓	57
(2) 防火水槽	57
(3) その他	57
4 化学消火剤備蓄状況	57
5 火災	58
(1) 月別火災発生状況	58
(2) 火災種別ごとの件数	59
(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者	59
(4) 火災種別ごとの損害額	60
(5) 焼損面積	60
(6) 曜日別火災発生状況	61
(7) 時間帯別火災発生状況	62
(8) 過去5年間の火災発生状況	63
(9) 過去5年間の火災種別件数	64
(10) 過去5年間の火災原因別件数	65
(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）	66
6 救急	67
(1) 過去5年間の救急状況	67
(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況	68
(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員	69
(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー）出場件数及び搬送人員	70
(5) 事故種別・月別出場件数・搬送人員	71
(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員	72
(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員	73
(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員	74
7 救助	75
8 火災以外の出動	76
9 救急講習	77

情 報 指 令

1 消防通信施設	81
(1) 消防指令センター	81
(2) 電話回線	81
(3) システム構成図	82

(4) 自家用発電機	83
(5) 無線局	84
2 119回線着信件数	85

消 防 団

1 消防団組織図	89
(1) 宇部市消防団	89
(2) 山陽小野田市消防団	90
2 消防団配置図	91
(1) 宇部市消防団	91
(2) 山陽小野田市消防団	92
3 消防団員階級別年齢	93
4 消防団員階級別勤続年数	94
5 消防団員年報酬及び費用弁償	95
6 消防団災害出動状況	96
7 消防団車両及び機械器具	97
(1) 配備管理状況	97
(2) 消防ポンプ自動車	99
(3) 小型動力ポンプ積載車	100
(4) 小型動力ポンプ	101
(5) その他の車両	102
8 消防団機庫	103
9 消防団協力事業所	106

管内概況



ときわ公園

宇部市のときわ公園は面積約100ヘクタールに及ぶ常盤湖を中心に広がる緑と花と彫刻に彩られた総合公園で、山口県初の「登録記念物（名勝地関係）」に登録されています。

約百点の彫刻作品を常設展示している園内では、豊かな自然とアートが調和した美しい景観を堪能できます。

本山岬公園（くぐり岩）

山陽小野田市の最南端にある公園で、周防灘に突出するように海に面しており、くぐり岩などの奇岩がそびえ立ちます。約3億年から2億5000万年前にかけて形成された地層がここに露出しています。大自然の壮観な景色は、訪れる人々にしばしの感動を与えます。



一目でわかる消防統計

令和2年4月1日現在

※令和元年12月末日現在



管轄面積

419.74km²



構成市

宇部市
山陽小野田市



人口と世帯数

人口 225,603人
世帯数 108,372世帯



職員数

定員 315人
実員 297人



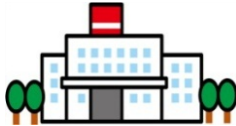
常備消防費予算

3,353,861千円



署所

消防署 4署
出張所 4所



防火対象物

9,411施設



危険物施設

1,525施設



防火クラブ

幼年消防クラブ 18
少年消防クラブ 8
婦人防火クラブ 1



消防車

ポンプ車等 27台
その他車両 31台



救急車

高規格救急自動車 11台



消防水利

消火栓 3,603基
防火水槽 371基



火災件数※

火災件数 74件
死者 0人
負傷者 19人



救急件数※

出動件数 10,095件
搬送人員 8,083人



救助件数※

出動件数 69件
救助人員 55人



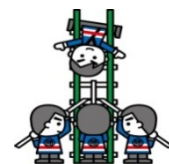
119回線着信件数※

合計 16,272件



宇部市消防団

分団数 15分団
団員数 694人
消防防災サポーター 73人



山陽小野田市消防団

分団数 13分団
団員数 417人

管内概況

1 管内の概要

宇部・山陽小野田消防組合は、宇部市及び山陽小野田市をもって組織され、本州西端にある山口県の南西部に位置し、西は下関市、北は美祢市、東は山口市、南は瀬戸内海に面しています。

交通環境を見ると、鉄道は JR 山陽新幹線をはじめ、山陽本線、宇部線、小野田線及び美祢線が東西南北に走り、高速道路は山陽自動車道が管内の中央部を横断し、海浜部には重要港湾である宇部港、小野田港があり、市街地に近い位置に山口宇部空港もあるなど、陸海空それぞれの交通環境が整っています。

気候は、年間を通じて温暖で雨が比較的少ない典型的な瀬戸内海式気候で、丘陵地や干拓地には豊かな自然があふれ、様々な動植物が生息しています。

また、南は瀬戸内海に面していることから、山と海の幸に恵まれ、市街地には厚東川、有帆川、厚狭川が流れ、貴重な水辺環境を有しています。

両市は、いずれも明治期以降、石炭産業の振興により、近代的な工業都市として発展し、現在でも瀬戸内有数の臨界工業地帯を形成しています。

2 構成市の位置図



	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	市の木	市の花
宇 部 市	1 6 3, 5 4 4	7 9, 3 8 7	2 8 6. 6 5	クスノキ	サルビア ツツジ
山陽小野田市	6 2, 0 5 9	2 8, 9 8 5	1 3 3. 0 9	クロガネモチ	ツツジ
計	2 2 5, 6 0 3	1 0 8, 3 7 2	4 1 9. 7 4	—	—

令和2年4月1日現在

3 第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画及び実行計画

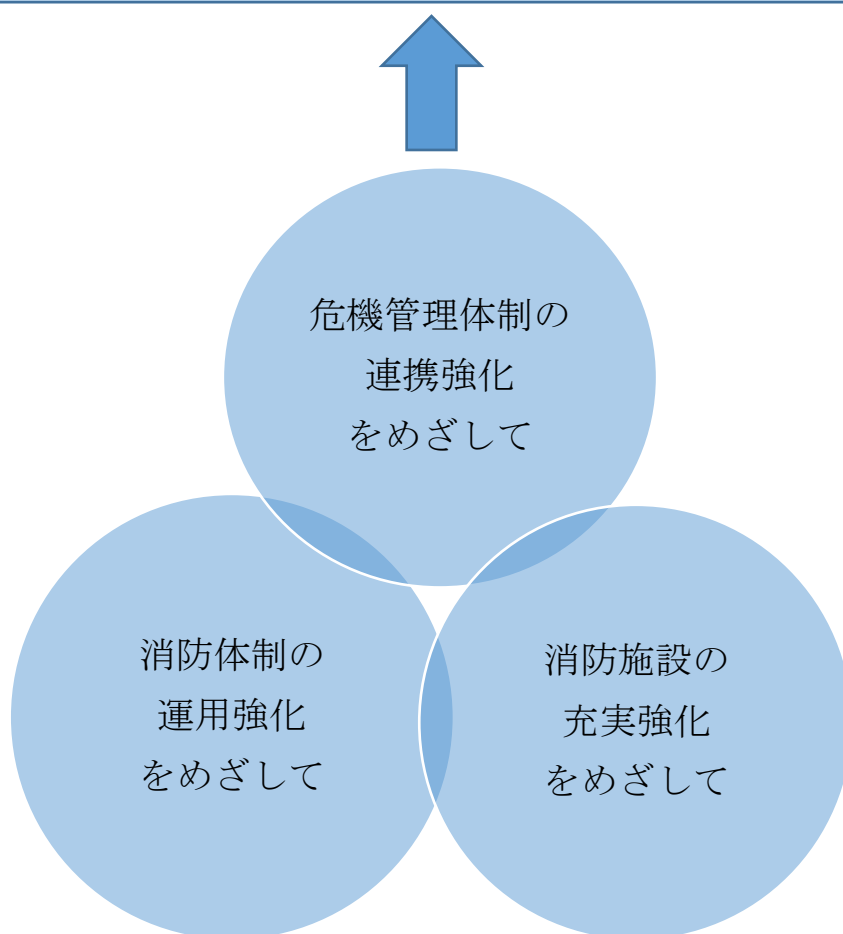
宇部・山陽小野田消防組合は、平成24年4月1日から消防業務の共同処理を開始するにあたり、宇部・山陽小野田消防局実行計画を策定し、業務を推進してきました。

この宇部・山陽小野田消防局実行計画が平成26年度で終了したことから、各種災害への対応や社会情勢及び多様化する住民ニーズに的確に応えるための指針として、第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定しました。

基本計画は、基本構想と実行計画で構成され、基本構想は平成27年度から令和5年度までの9年間の消防組合の施策を体系的に定めたもので、基本構想で示した基本方針、大綱に基づく施策を実施するために、具体的な事務事業を明示したものが、実行計画となります。これらに基づき、消防組合の目指すべき姿を具体化するとともに、各種施策に積極的かつ献身的に取り組み、強力に推進していきます。

[基本方針]

住民とともに歩む安心して暮らせる安全な都市（まち）をめざして



4 消防の沿革

(1) 宇部・山陽小野田消防組合の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
2008年 平成20年 5月	山口県は、消防組織法の一部を改正する法律（平成18年法律第64号）及び市町村の消防の広域化に関する基本指針（平成18年7月12日消防庁告示第33号）を受け「山口県消防広域化推進計画」を策定
2009年 平成21年11月20日	宇部市と山陽小野田市は、市街地や石油コンビナートが一体化しさらに都市形態も類似しているため、効果的かつ効率的な消防体制の構築が図られると考え、「宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会」を設置し、消防の広域化について検討を開始
2009年 平成21年11月20日	第1回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 2月13日	第2回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 5月20日	第3回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年 8月11日	第4回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年10月15日	第5回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2010年 平成22年11月15日	第6回宇部市・山陽小野田市消防広域化検討委員会開催
2011年 平成23年 1月 4日	宇部市と山陽小野田市は、両市の消防広域化に係る広域消防運営計画の作成及びこれに附帯する事務を共同して行うため、「宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会」を設置
2011年 平成23年 2月16日	第1回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 3月29日	第2回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 5月31日	第3回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 6月29日	第4回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 7月20日	第5回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年 8月 1日	第6回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年10月20日	第7回宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会開催
2011年 平成23年10月20日	宇部市・山陽小野田市広域消防運営計画を策定

(西暦) 年 月 日	沿 革
2011年 平成23年 11月30日	山口県知事から、宇部市及び山陽小野田市の両市長に「宇部・山陽小野田消防組合」の設置許可書が交付される。 ※宇部・山陽小野田消防組合発足（平成18年の消防組織法改正後に消防が広域化されるのは、全国で7番目、県内では初の取り組み）
2012年 平成24年 2月20日	第1回宇部・山陽小野田消防組合議会 定例会開催
2012年 平成24年 3月30日	宇部市・山陽小野田市消防広域化協議会 廃止
2012年 平成24年 4月 1日	「宇部・山陽小野田消防局」が発足し、1本部4署4出張所、職員定数298人で消防業務を開始
2013年 平成25年 3月28日	山陽小野田市大字厚狭487番地9へ山陽消防署を新築移転し、竣工式を挙げる
2014年 平成26年 3月 2日	高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線の運用開始
2014年 平成26年 8月22日	緊急消防援助隊（延べ13隊、52人）を広島市土砂災害（広島県広島市安佐南区）の被災地へ9日間派遣
2015年 平成27年 1月28日	第一次宇部・山陽小野田消防組合基本計画を策定
2016年 平成28年 4月16日	緊急消防援助隊（延べ12隊、44人）を熊本地震（熊本県南阿蘇村河陽地区ほか）の被災地へ6日間派遣
2017年 平成29年 7月 6日	緊急消防援助隊（延べ27隊、108人）を平成29年7月九州北部豪雨災害（福岡県朝倉郡東峰村ほか）の被災地へ20日間派遣
2018年 平成30年 3月25日	宇部市大字船木461番地1へ宇部西消防署楠出張所を新築移転し、開所式を挙げる
2018年 平成30年 4月 1日	宇部市消防団事務を宇部・山陽小野田消防組合から宇部市へ移管
2018年 平成30年 7月 6日	緊急消防援助隊（延べ12隊、34人）を平成30年7月豪雨災害（広島県安芸区矢野東付近ほか）の被災地へ13日間派遣
2020年 令和 2年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を315人に増員

(2) 宇部市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1921年 大正10年11月11日	村から一躍市政を施行。消防組織は消防組と称し、市域を4部に分け、各部32人をもって組織し、腕用ポンプを配備
1931年 昭和6年	藤山村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1939年 昭和14年4月1日	消防組を警防団に改名し、市域を11分団、各250人程度に編成
1941年 昭和16年	厚南村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1943年 昭和18年	西岐波村と合併し、消防組の組織が拡充強化
1944年 昭和19年3月24日	宇部市小串通り渡辺翁記念会館内に山口県宇部消防署が設置(勅令第137号特設消防規定に基づく)され、防府市と山口市にその出張所を設置
1947年 昭和22年9月	終戦による警防団の解散に伴い、新たに11分団定員419人の消防団が結成
1947年 昭和22年12月23日	消防組織法が公布され、従来の官設消防は、警察から分離して民主的な自治体消防として発足
1948年 昭和23年3月7日	消防組織法の施行に伴い、宇部市消防本部を宇部市常盤通り一丁目宇部市役所内に設置し、宇部市消防署は従前どおり渡辺翁記念会館内に存置して、自治体消防として新発足 また、防府、山口両市の出張所は宇部消防署の管轄を離れ、人員機材をそのままに両市自治体消防として発足
1948年 昭和23年7月24日	消防法が公布され、消防業務は従来の水火災の防御鎮圧分野から大きく進展し、火災予防、原因の調査、建築許可等の同意、危険物の取締等の消防行政に画期的な職権が付与
1950年 昭和25年9月16日	宇部市消防本部を渡辺翁記念会館内(宇部市消防署と同一箇所)に移転
1954年 昭和29年10月1日	厚東、二俣瀬、小野、東岐波の4村が合併
1956年 昭和31年11月	消防団の機構改革を行い、11分団、定員600人に統合
1960年 昭和35年9月1日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を常盤町二丁目、郵便局庁舎北隣の新庁舎に移転

(西暦) 年 月 日	沿 革
1963年 昭和38年 9月10日	消防法の一部改正により、救急業務が制度化され、救急車1台を配備して、救急隊を編成
1970年 昭和45年11月	宇部市消防団の事務局を市長部局から消防本部総務課へ移管
1975年 昭和50年 9月	山口県消防操法大会応急操法ポンプ車の部において初優勝
1977年 昭和52年 4月 1日	吉敷郡阿知須町から同町の救急業務に関する事務を受託
1977年 昭和52年 4月 1日	宇部市消防本部消防職員共済会設立
1978年 昭和53年 4月18日	厚南中野に厚南消防出張所を建築、消防業務を開始し職員定数を97人に増員
1980年 昭和55年 4月 1日	西岐波西大道に東部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を124人に増員
1982年 昭和57年12月 6日	山口宇部空港内に空港分遣所を設置
1988年 昭和63年 3月31日	山口宇部空港内の空港分遣所を廃止
1989年 平成 元年 1月19日	宇部市消防本部及び宇部市消防署を港町二丁目の新庁舎に移転し、消防緊急情報システムを導入
1990年 平成 2年 5月23日	山口県消防大会を開催
1990年 平成 2年11月30日	高齢化社会に伴い、緊急時の通報として宇部市緊急通報システムを構築し、集中管理センターを消防本部通信指令室に設置
1991年 平成 3年 9月	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝
1992年 平成 4年11月 6日	救急救命士及び高規格救急自動車による高度処置救急隊の運用開始
1995年 平成 7年 4月 1日	二俣瀬に北部消防出張所を建築、業務を開始し、職員定数を161人に増員
1995年 平成 7年 8月 1日	宇部地区地震連絡協議会を設立(同年7月31日)し地震発生情報伝達システムの運用を開始
1995年 平成 7年10月24日	山口県幼年消防大会を開催
1996年 平成 8年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を164人に増員
1997年 平成 9年 4月 1日	消防の充実強化を図るため、職員定数を170人に増員

(西暦) 年 月 日	沿 革
1998年 平成10年 4月 1日	西部消防出張所を西消防署に昇格し、職員定数を176人に増員
1999年 平成11年10月 1日	消防緊急通信指令施設更新
2000年 平成12年 4月 1日	消防の充実強化及び拡充を図るため、職員定数を184人に増員し通信指令部門を通信指令課として独立
2000年 平成12年 6月 8日	山口県危険物安全大会を開催
2000年 平成12年 8月	山口県総合防災訓練を実施
2000年 平成12年10月 1日	吉敷郡阿知須町から同町の消防業務に関する事務を受託
2002年 平成14年 4月 1日	中央消防署に救助係を設置
2002年 平成14年10月16日	中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練を阿知須町きらら浜で実施
2003年 平成15年 8月 1日	救命率向上を図るため、山口大学医学部附属病院と相互協力し、救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）を運用開始
2004年 平成16年 5月	山口県消防大会を開催
2004年 平成16年11月 1日	楠町との合併により楠消防出張所を開設し、1本部、2署、3出張所、職員定数194人で運用開始 また宇部市消防団の定員を宇部消防団560人、楠消防団180人で運用開始
2007年 平成19年 3月 1日	高規格救急自動車1台を導入し、保有する7台全ての救急車の高規格化が完了
2007年 平成19年 4月 1日	宇部消防団に方面隊を組織し、定員520人に改正
2008年 平成20年 5月30日	宇部市危険物安全協会と宇部市防火協会を統合し、宇部市防災協会を設立
2008年 平成20年 9月	山口県消防操法大会基本操法小型ポンプの部において初優勝
2009年 平成21年10月31日	山口市阿知須区域の事務受託を廃止
2011年 平成23年 3月14日	緊急消防援助隊（4隊、13人、車両4台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ4日間派遣
2013年 平成25年 4月 1日	宇部市消防団（宇部消防団、楠消防団）が統合

(3) 小野田市消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1898年 明治31年 2月	須恵村に公設消防組を設置
1908年 明治41年 9月	高千帆村に公設消防組を設置
1939年 昭和14年 4月15日	小野田・高千帆両町の消防組を警防団に改名
1940年 昭和15年11月 3日	小野田町と高千帆町が合併して小野田市となり、両町の警防団は小野田市警防団と再編
1947年 昭和22年 6月27日	小野田市消防団を結成し、団本部と8個分団を編成、450人の組織を設置
1948年 昭和23年12月 1日	市役所社会課内に小野田市消防本部を設置
1949年 昭和24年 5月 1日	小野田市大字小野田5993番地へ消防本部を設置し、当市消防行政は市の一般行政から独立、消防職員の定数は消防長以下5人で、消防業務を開始
1950年 昭和25年 4月 1日	小野田市消防団員の定員を450人から275人に改正
1951年 昭和26年 1月18日	消防団第2分団の水上部を独立させ、水上分団を設置
1951年 昭和26年 8月 3日	市長、消防長、団長、市議会議員4人、一般有識者10人により小野田市消防委員会を設置
1955年 昭和30年 5月30日	高松宮殿下を迎え、消防自動車80台、消防職団員3,000人による山口県消防機関連合訓練大会を挙行
1963年 昭和38年 3月 9日	小野田市大字小野田5896番地の1に消防本部・署庁舎を新築移転
1963年 昭和38年 4月 1日	小野田市危険物安全協会を設立(10事業所)
1964年 昭和39年12月11日	非常災害連絡用として消防無線局を開局 ・基地局(10W 1基) ・陸上移動局(10W 3基) ・携帯陸上移動局(1W 2基)
1965年 昭和40年10月 1日	救急業務を開始
1970年 昭和45年12月 1日	小野田市化学消火剤共同備蓄会を設立(34事業所)
1977年 昭和52年10月17日	大型化学消防自動車、大型高所放水車、泡原液搬送車を配置
1978年 昭和53年12月 5日	一斉指令装置を設置

(西暦)	年	月	日	沿 革
1983年	昭和58年	7月	1日	機構改革により、新たに予防課を設置、総務課に消防団係を設置
1985年	昭和60年	6月	1日	石井手保育園に幼年消防クラブを結成、以後6保育園がクラブを結成
1985年	昭和60年	7月	19日	刈屋婦人防火クラブを結成
1985年	昭和60年	9月	1日	小野田市防火委員会を結成
1987年	昭和62年	11月	11日	全国消防長会危険物委員会を開催
1990年	平成2年	5月	23日	山口県消防大会を開催
1992年	平成4年	4月	1日	女性消防団員10人を採用
1993年	平成5年	4月	1日	職員定数を54人から57人に増員
1995年	平成7年	9月	1日	県下初の地震を想定した山口県総合防災訓練を実施
1995年	平成7年	10月	24日	山口県幼年消防大会を開催
1996年	平成8年	4月	1日	高規格救急自動車を新規配備し高度救急業務を開始
1997年	平成9年	3月	26日	耐震性貯水槽（100t）新設、以後市街地に9基設置
1999年	平成11年	3月	25日	消防緊急通信指令施設（I型）が完成
1999年	平成11年	4月	1日	小野田市高栄一丁目6番1号へ消防本部・消防署庁舎を新築移転し、供用開始（本庁舎：鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建）
1999年	平成11年	7月	1日	きららビーチ完成に伴い、消防署に水難救助隊を設置
2000年	平成12年	1月	20日	消防訓練塔完成（主塔：5階建、補助塔：3階建）
2000年	平成12年	3月	29日	化学消火薬剤備蓄タンク（20k1）及び消火薬剤倉庫が完成
2000年	平成12年	6月	8日	山口県危険物安全大会を開催
2002年	平成14年	3月	27日	小野田市消防団が地域活動功労による消防庁長官表彰を山口県で初受賞
2002年	平成14年	10月	17日	全国消防長会予防委員会を開催
2005年	平成17年	3月	21日	小野田市消防委員会を廃止

(4) 山陽町消防の沿革

(西暦) 年 月 日	沿 革
1948年 昭和23年 8月	厚狭町消防本部を設置
1956年 昭和31年 9月	厚狭町と埴生町が合併し山陽町となり、山陽町消防本部を設置
1963年 昭和38年 1月	山陽町危険物安全協会を設立
1971年 昭和46年 4月	楠町と救急業務に関する事務委託協定を締結
1973年 昭和48年 6月	山陽地区消防組合を設立(許可番号:指令地方第327号) 山陽町と楠町で消防に関する事務を共同処理
1974年 昭和49年10月	楠出張所開設、職員6人、消防ポンプ車、救急車、連絡車の3台配備し業務開始 埴生出張所(旧埴生消防事務室)開設、職員5人、消防団消防ポンプ自動車を管理
1981年 昭和56年 4月	埴生出張所完成、職員7人、水槽付消防ポンプ車、救急車、連絡車の3台を配備
1993年 平成5年 3月	消防緊急通信指令施設(I型)を設置
1993年 平成5年 7月	消防組合発足20周年記念式典を開催
1994年 平成6年 3月	消防用無線中継局を松岳山に開局
1994年 平成6年11月	山陽署事務室等増築
2000年 平成12年 8月	山口県総合防災訓練を実施
2002年 平成14年 4月	高規格救急自動車を山陽消防署に配備し高度救急業務開始
2003年 平成15年 6月	山口県危険物安全大会を開催
2004年 平成16年 4月	職員8人(内3人救急救命士)を採用し実員64人に増員
2004年 平成16年 5月	山口県消防大会を開催
2004年 平成16年10月31日	組合構成団体の楠町が宇部市と合併、山陽地区消防組合を解散
2004年 平成16年11月 1日	山陽町消防本部を設立 1本部1署1出張所、職員定数54人で消防業務開始

(5) 山陽小野田市消防の沿革

(西暦)	年	月	日	沿 革
2005年	平成17年	3月	22日	小野田市と山陽町の合併により、山陽小野田市が誕生したことに伴い、常備消防は、2消防本部が統合して山陽小野田市消防本部（山陽小野田市高栄一丁目6番1号）が発足、1本部2署1出張所、職員定数110人の消防体制で消防業務を開始 一方、非常備消防も2市町の消防団が統合し、1団本部、22分団、定員503人による消防団組織を編成
2005年	平成17年	9月	17日	山口県消防操法大会応急操法小型ポンプの部において初優勝
2006年	平成18年	3月	20日	消防緊急通信指令システム（I型）を更新
2006年	平成18年	5月	28日	消防学校フェスタで従来の幼年消防クラブ大会に替えて、山陽小野田市引受けによるちびっ子防火フェアを開催
2007年	平成19年	4月	1日	山陽小野田市消防団は合併協定事項に基づき、小学校区を基本に統合、合併当時の22個分団を13個分団に再編し、定員も503人から485人に改正、業務開始
2007年	平成19年	4月	12日	出合分団及び厚陽分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2008年	平成20年	3月	18日	厚狭北分団の車庫完成に伴い、分団車庫引渡披露式を実施
2011年	平成23年	3月	14日	緊急消防援助隊（2隊、5人、車両2台）を東日本大震災（宮城県石巻市）の被災地へ4日間派遣

5 歴代消防長

(1) 宇部・山陽小野田消防局

代	氏名	期間	備考
初	杉野嘉裕	平成24年4月1日～平成27年3月31日	
2	江本祥三	平成27年4月1日～平成29年3月31日	
3	山本晃	平成29年4月1日～平成31年3月31日	
4	石部隆	平成31年4月1日～現在	

(2) 宇部市

代	氏名	期間	備考
初	星出寿雄	昭和23年3月7日～昭和25年9月15日	助役
2	中間義雄	昭和25年9月16日～昭和42年3月31日	
3	西田竹一	昭和42年4月1日～昭和42年5月31日	助役
4	三井太兵衛	昭和42年6月1日～昭和48年1月10日	
5	西田一美	昭和48年1月11日～昭和52年11月30日	
6	穂村馨	昭和52年12月1日～昭和55年3月31日	
7	佐野慶一	昭和55年4月1日～昭和58年3月3日	
8	石土吾市	昭和58年3月4日～昭和61年3月31日	
9	中川典義	昭和61年4月1日～平成元年3月31日	
10	河野積善	平成元年4月1日～平成2年3月31日	
11	片岡信行	平成2年4月1日～平成4年3月31日	
12	山縣熙	平成4年4月1日～平成8年3月31日	
13	若杉清美	平成8年4月1日～平成11年3月31日	
14	神田義正	平成11年4月1日～平成13年3月31日	
15	原谷恒雄	平成13年4月1日～平成15年3月31日	
16	中山武久	平成15年4月1日～平成17年3月31日	
17	矢野洋司	平成17年4月1日～平成19年3月31日	
18	利重和彦	平成19年4月1日～平成22年3月31日	
19	芥川貴久爾	平成22年4月1日～平成24年3月31日	

(3) 小野田市

代	氏名	期間	備考
初	森本品一	昭和23年5月1日～昭和32年7月10日	
2	豊田重康	昭和32年7月11日～昭和39年3月31日	
3	近間武久	昭和39年4月1日～昭和43年3月31日	
4	岡義雄	昭和43年4月1日～昭和47年3月31日	
5	大中誠	昭和47年4月1日～昭和48年3月30日	
6	濱崎清治	昭和48年10月1日～昭和59年3月31日	

7	金澤俊雄	昭和59年4月1日～昭和62年3月31日	
8	西田一	昭和62年4月1日～平成元年3月31日	
9	尾山克己	平成元年4月1日～平成3年6月20日	
10	西村信二	平成3年6月21日～平成8年3月31日	
11	平田武	平成8年4月1日～平成10年3月31日	
12	高橋茂	平成10年4月1日～平成16年3月31日	
13	中里裕典	平成16年4月1日～平成17年3月21日	

(4) 山陽町

代	氏名	期間	備考
初	真鍋亭造	昭和23年8月1日～昭和25年4月1日	助役
2	八木正一	昭和25年5月4日～昭和27年5月31日	助役
3	中村貞雄	昭和27年10月11日～昭和31年11月5日	助役
4	細迫左文太	昭和31年11月17日～昭和33年4月9日	町長
5	縄田定人	昭和33年6月15日～昭和39年12月31日	助役
6	田中文	昭和40年4月5日～昭和43年11月20日	助役
7	小玉礦	昭和44年2月1日～昭和45年4月30日	職務代理
8	福永内匠	昭和45年5月1日～昭和46年6月15日	
9	小玉礦	昭和46年7月1日～昭和48年5月31日	
10	安部學	平成16年10月1日～平成17年3月21日	

(5) 山陽地区消防組合

初	小玉礦	昭和48年6月1日～昭和58年1月10日	
2	庄野義章	昭和58年1月11日～昭和60年3月31日	
3	金重成昭	昭和60年4月1日～昭和63年3月31日	
4	尾田勝	昭和63年4月1日～平成7年3月31日	
5	野村隆之	平成7年4月1日～平成13年3月31日	
6	笹木慶之	平成13年4月1日～平成14年3月31日	
7	安部學	平成14年4月1日～平成16年9月30日	

(6) 山陽小野田市

代	氏名	期間	備考
初	中里裕典	平成17年3月22日～平成20年3月31日	
2	山根雅敏	平成20年4月1日～平成22年3月31日	
3	松野清和	平成22年4月1日～平成24年3月31日	

6 過去の主な災害等

(1) 宇部・山陽小野田消防組合発足以降の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H25. 9. 8	宇部市 大字沖宇部	工場内の中間製品貯蔵タンクより出火 損害額 7, 440千円 軽症2人
H26. 4. 27	宇部市 大字今富	倉庫から出火し、山林に延焼 建物9棟全焼、1棟部分焼 (836㎡) 損害額 7, 849千円 山林61a焼失
H26. 8. 18	山陽小野田市 新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 122, 409千円
H27. 5. 1	山陽小野田市 大字小野田	工場内のベルトコンベアーから出火 損害額 9, 428千円
H27. 8. 5	山陽小野田市 港町	ガス充てん工場作業場から出火 損害額 84, 040千円 負傷者1人

(2) 宇部市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S20. 7. 2	市内	B29爆撃機による空襲 4, 953戸全焼 り災世帯23, 413世帯 死者336人 負傷者591人
S25. 2. 18	常盤町二丁目	百貨店から出火 建物7棟焼損(1, 404㎡) 損害額 21, 989千円
S28. 3. 2	梶返	中学校から出火 建物4棟焼損(5, 690㎡) 負傷者 6人 損害額 70, 000千円
S30. 11. 20	小串	病院から出火 建物1棟全焼(2, 507㎡) 損害額 24, 717千円
S34. 7. 11	大字藤曲	化学工場が爆発 建物1棟(560㎡) 死者11人 負傷者38人 損害額 250, 000千円
S36. 4. 1	川上(男山)	山林から出火 3日間延焼 462ha焼失 損害額 37, 582千円
S37. 10. 29	大字上宇部	高等学校から出火 建物4棟焼損(999㎡) 損害額 2, 704千円
S40. 3. 19	東海岸通り二丁目	木工所から出火 建物12棟焼損(1, 788㎡) り災世帯19世帯 負傷者2人 損害額 30, 506千円
S43. 6. 12	中央町三丁目	家具百貨店から出火 建物18棟焼損(2, 658㎡) り災世帯26世帯 負傷者2人 損害額 93, 458千円
H元. 12. 7	新天町二丁目	物品販売店舗から出火 建物1棟全焼(4, 068㎡) り災世帯3世帯 負傷者3人 損害額 510, 776千円

(3) 旧小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S26. 6. 6	くし山中	小学校から出火 校舎2棟全焼(919㎡) 損害額 7,048千円
S30. 3. 7	北栄町	映画館から出火 建物1棟全焼(659㎡) 損害額 5,050千円
S33. 4. 8	くし山東	高等学校から出火 校舎1棟全焼(347㎡) 損害額 1,700千円
S34. 11. 13	第一日の出町	パチンコ店から出火 建物3棟全焼(292㎡) り災世帯12世帯 り災人員41人 損害額 168,298千円
S53. 4. 9	北真土郷	林野から出火 焼損面積27ha 損害額 24,003千円
S56. 7. 7	西沖	石油精製工場(動力管理室から出火)建物1棟部分焼 損害額 17,130千円(原因は落雷) 負傷者1人
S59. 2. 28	丸河内一区	電気製品の倉庫から出火 建物1棟全焼(869㎡) 損害額 134,410千円
S60. 6. 23	南真土郷	樹脂工場から出火 建物1棟全焼(660㎡) 損害額 151,675千円
S63. 4. 26	平和町	専用住宅から出火 建物20棟を全半焼(1,486㎡) り災世帯25世帯 り災人員63人 損害額 347,974千円
H11. 9. 7	小野田港	製鋼工場から水蒸気爆発が発生 出火建物は爆発により損壊したが、 火災による損害はスクラップのみ

(4) 旧山陽町の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
S25. 5. 15	火薬町	化学工場内の廃酸分解から出火 建物3戸全焼(298㎡) 損害額 100,000千円 半焼1戸 死者3人
S26. 6. 7	本町1	映画館から出火 映画館(200㎡)を全焼 半焼5戸 損害額 8,750千円 り災世帯6世帯
S35. 2. 20	山陽本線	山陽本線厚狭埴生駅間「さくら」の電源車から出火 損害額31,320千円
S40. 3. 21	保戸	山林から出火 山林13.8ha焼失 損害額 2,202千円
S42. 6. 4	大持	山林から出火 再燃で延べ4日間にわたり延焼 損害額 6,291千円、山林18.4ha焼失
S43. 4. 30	大持	山林から出火 山林10.3ha焼失 損害額 458千円
S45. 1. 16	殿町3	小学校(木造2階建)から出火 校舎半焼(542㎡) 損害額 2,634千円
H15. 11. 8	浜崎	「まつり山陽」前夜祭花火大会において花火の爆発事故 損害額 94千円 死者2人 重症1人 軽症1人

(5) 山陽小野田市の主な火災記録

発生日	住 所	原因・焼損程度・損害額等
H17.10.24	新沖二丁目	発電所のベルトコンベアーから出火 損害額 47,806千円

(6) 宇部・山陽小野田地区における自然災害

年 月 日	内 容	被 害 概 要	
		宇 部 市	山陽小野田市
S17. 8.27	周防灘台風により高潮が発生、市内堤防が相次いで決壊し市街地及び低地に海水が浸水し、甚大な被害をもたらした。	死者 232 人、行方不明 65 人、負傷者 118 人、家屋全壊 71 戸、家屋流出 472 戸、家屋半壊 643 戸、浸水 5,082 戸	(小野田市)死者 141 人、行方不明 3 人、負傷者 27 人、家屋全壊 195 戸、家屋流出 96 戸、家屋半壊 985 戸、床上浸水 509 戸、船舶流失 350 艘
S28.6.25 ~6.29	九州山口を豪雨が襲い、約 5 日間にわたる記録的な大雨となり、大きな被害をもたらした。	死者 1 人、家屋全半壊 29 戸、浸水 3,707 戸、真締川堤防 3 か所決壊、13 鉱完全水没、	(小野田市)死者 2 人、重傷者 1 人、家屋全半壊 44 戸、家屋流出 1 戸、床上浸水 179 戸、道路決壊 30 ヶ所、橋梁流出 4 箇所(山陽町)厚狭川決壊、死者 6 人、負傷者 5 人、家屋全半壊 19 戸、床上浸水 1,503 戸
H3.9.27	台風第 19 号は、中心気圧 945hpa、最大風速 45m/s の大型台風で、大きな被害をもたらした。	死者 1 人(太陽熱温水器落下による)、重傷者 3 人、軽傷者 8 人、家屋半壊 41 戸	(小野田市)負傷者 7 人、家屋全壊 1 戸、家屋半壊 10 戸、床上浸水 1 戸 (山陽町)家屋全壊 2 戸、家屋半壊 1 戸、床上浸水 11 戸、床下浸水 23 戸
H11.9.24	台風第 18 号は、中心気圧 950hpa、最大風速 45m/s の大型台風で竜巻、高潮による大きな被害をもたらした。	重傷者 4 人、軽傷者 7 人、家屋全壊 13 戸、家屋半壊 536 戸、床上浸水 241 戸、床下浸水 3,408 戸	(小野田市)重傷者 12 人、軽傷者 70 人、家屋全壊 17 戸、家屋半壊 118 戸、西部石油沖護岸決壊、床上浸水 83 戸 (山陽町)負傷者 5 人、住宅全壊 32 世帯、半壊 421 世帯、非住居の被害 215 戸、救出者 21 人
H21.7.21 ~7.26	梅雨前線に伴う集中豪雨(平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨)のため、河川の氾濫等により多くの被害をもたらした。	家屋半壊 4 戸、床上浸水 42 戸、床下浸水 20 戸	床上浸水 44 戸、床下浸水 221 戸、救助出動 9 件、救助人員 49 人
H22.7.15	梅雨前線の停滞に伴う集中豪雨による厚狭川等の氾濫のため、山陽地区において多くの被害をもたらした。	家屋半壊 1 戸、家屋一部損壊 8 戸、床上浸水 2 戸、床下浸水 60 戸	家屋半壊 8 戸、床上浸水 446 戸、床下浸水 351 戸、救助人員 92 人(宇部・光・岩国消防応援隊救出を含む)

7 応援協定等締結状況

協定の名称		締結先機関	締結年月日	
1	山口県内広域消防相互応援協定	山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1	
2	中国自動車及び山陽自動車道における消防相互応援協定	下関市・美祢市・山陽小野田市・宇部市 山口市・防府市・周南市・下松市・光市 光地区消防組合・岩国市・岩国地区消防組合	H24. 4. 1	
3	県道山口宇部線における消防相互応援協定	山口市・宇部市	H24. 3. 28	
4	石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定	岩国地区消防組合・下松市・周南市・下関市	H24. 4. 1	
5	「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	下関市・山口市・萩市・防府市・下松市・長門市 周南市・柳井地区広域消防組合・美祢市 光地区消防組合・岩国地区消防組合	H24. 4. 1	
6	山口県消防防災ヘリコプター応援協定	山口県・山口県内全域の市町及び消防組合	H24. 4. 1	
7	船舶消火に関する業務協定	宇部海上保安署	H24. 4. 1	
8	山口県宇部空港及びその周辺における消火救援活動に関する協定	山口宇部空港	H24. 4. 1	
9	ガス漏れ及び爆発事故等の防止対策に関する申し合わせ	都市ガス	山口合同ガス(株)宇部支店	H26. 4. 1
		LPガス	山口県LPガス協会宇部小野田支部	H24. 4. 1
			山口県LPガス協会厚狭支部	H24. 4. 1
10	救急車医師同乗システムに関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
11	気管挿管実習に係る協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
12	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山口大学医学部附属病院	H24. 4. 1	
		医療法人社団宇部興産中央病院		
		山口労災病院		
13	エボラ出血熱患者の移送に関する協定	山口県宇部環境保健所	H27. 6. 5	
14	宇部・山陽小野田消防局地域における医療救護活動に関する協定	山陽小野田市民病院	H30. 2. 9	

総

務

消防局・宇部中央消防署



宇部中央消防署東部出張所



宇部西消防署



宇部西消防署北部出張所



宇部西消防署楠出張所



小野田消防署



山陽消防署



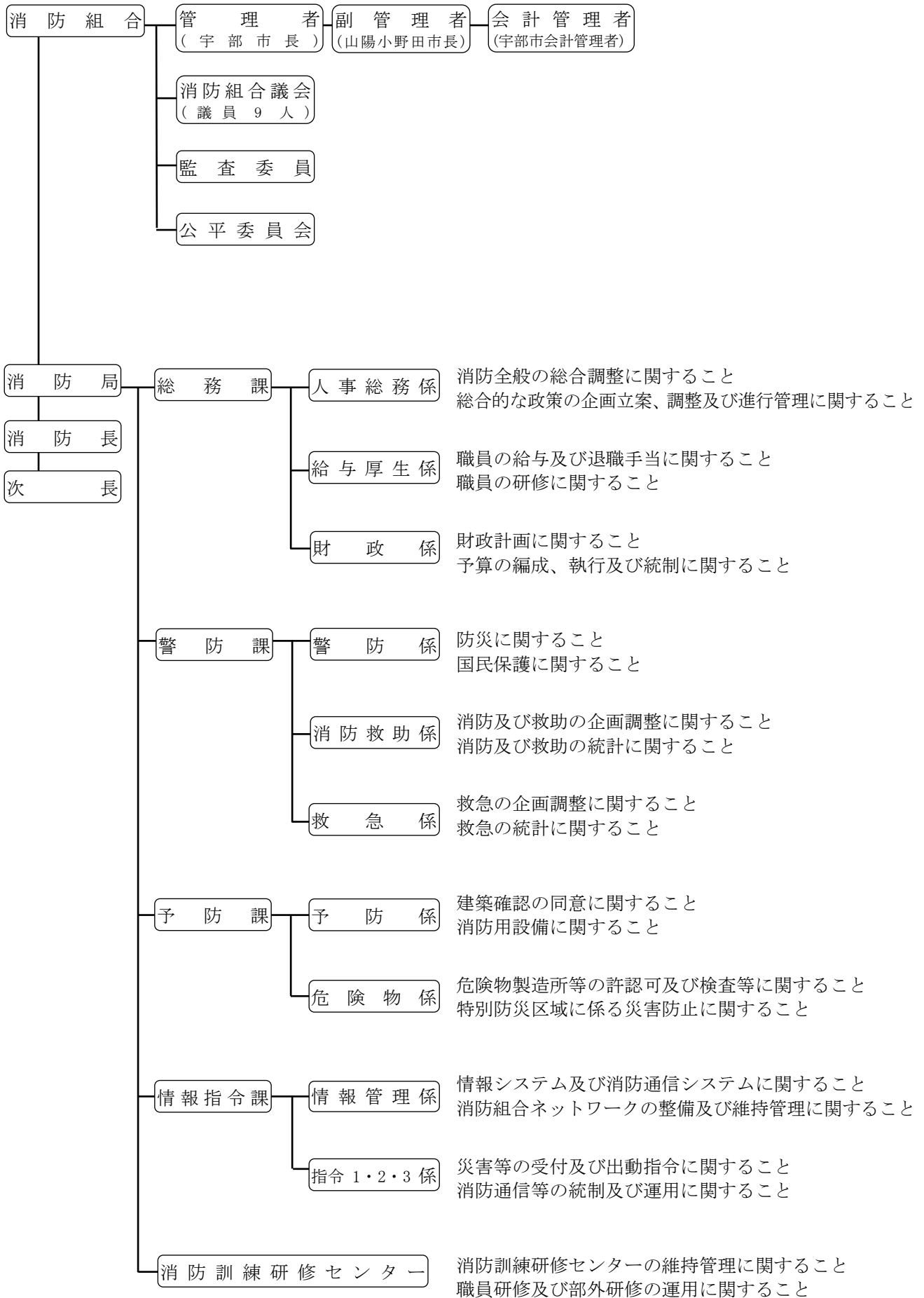
山陽消防署埴生出張所

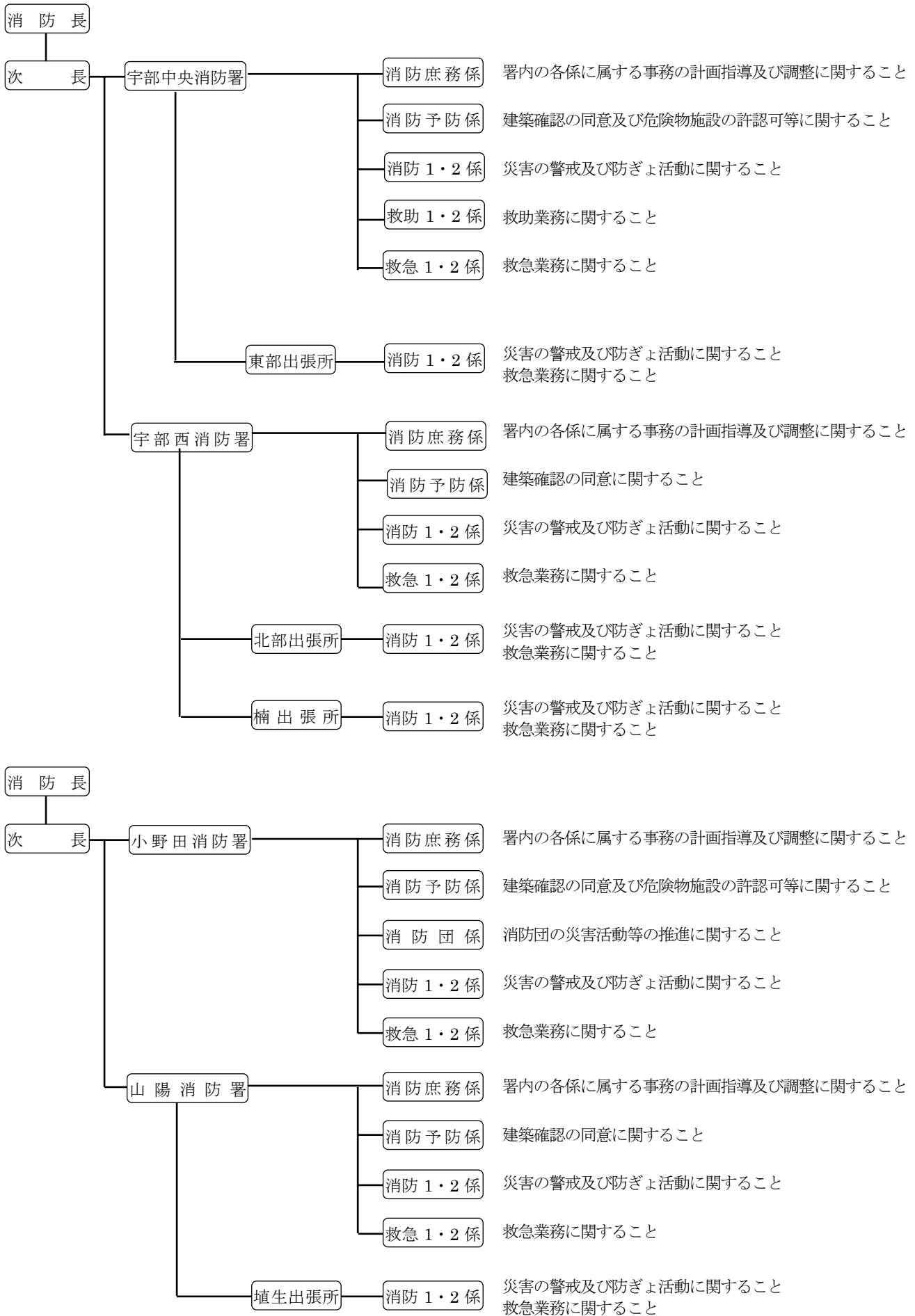


1年間の主な行事

- 6月第2週……………危険物安全週間
- 8月30日～9月5日……………防災週間
- 9月1日……………防災の日
- 9月9日……………救急の日
- 11月9日……………119番の日
- 11月9日～11月15日……………秋季火災予防運動
- 1月15日～1月21日……………防災とボランティア週間
- 1月17日……………防災とボランティアの日
- 1月26日……………文化財防火デー
- 3月1日～3月7日……………春季火災予防運動
- 3月7日……………消防記念日

1 宇部・山陽小野田消防組合組織図及び主な分掌事務





2 消防局・消防署職員配置表

[単位：人]

勤務別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員	人事交流職員等	
定員			315											
実員			297 (6)		4	6	26	79 (2)	93 (1)	32 (1)	57 (2)	7	2	
消防局	消防長												1	
	次長		1		1									
	総務課	課長	1			1								
		副課長	2				2							
		人事総務係	3					2	1					
		給与厚生係	3						1	2				
		財政係	2						1	1				
		派遣職員他	16(1)						3	1		12(1)		
	警防課	課長	1		1									
		副課長	1				1							
		警防係	1					1						
		消防救助係	2						1	1				
		救急係	2							2				
	予防課	課長	1			1								
		副課長	1				1							
		予防係	3						1	2				
		危険物係	4						2	2				
	情報指令課	課長	1			1								
		主幹	1			1								
		副課長	4				4							
		情報管理係	1							1				
		指令1係	3						2	1			2	
		指令2係	4(1)						2	1	1(1)		1	
指令3係		4						3	1					
小計			62(2)		2	4	8	21	14	1(1)	12(1)	3		

() 内は女性職員数

勤務別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員	人事交流職員等
宇部中央消防署	署長		1		1								
	副主幹		2				2						
	消防庶務係		1					1					
	消防予防係		4					2	1	1			
	警備司令		2				2						
	消防1係		12(1)					4	4(1)		4	2	
	救助1係		5					1	2	2			
	救急1係		9					2	4	1	2		
	消防2係		12					3	4	2	3	2	
	救助2係		5					2	1	2			
	救急2係		9(1)					2	4		3(1)		
	東部出張所長		1				1						
	東部消防1係		10					1	4	2	3		
	東部消防2係		10					3	3	1	3		
小計		83(2)		1		5	21	27(1)	11	18(1)	4		
宇部西消防署	署長		1			1							
	副主幹		1				1						
	消防庶務係		2						1		1		
	消防予防係		1					1					
	警備司令		2				2						
	消防1係		10					2	4		4		
	救急1係		4					2	1		1		
	消防2係		10					1	4	4	1		
	救急2係		4					2	1		1		
	北部出張所長		1				1						
	北部消防1係		8					3	3	1	1		
	北部消防2係		7						5	2			
	楠出張所長		1				1						
	楠消防1係		8					2	3	3			
楠消防2係		7					2	2	1	2			
小計		67			1	5	15	24	11	11			

()内は女性職員数

勤務別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員	人事交流職員等
小野田消防署	署長		1		1								
	副主幹		1				1						
	消防庶務係								1				1
	消防予防係		3					2	1				
	消防団係		2(1)					2(1)					
	警備司令		2				2						
	消防1係		12					4	4	1	3		
	救急1係		5					1	2		2		
	消防2係		12					3	4	2	3		
	救急2係		5					2(1)	1	1	1		
	小計		44(2)		1		3	14(2)	13	4	9		1
山陽消防署	署長		1			1							
	副主幹		1				1						
	消防庶務係		1				1	1					
	消防予防係		2						1				
	警備司令		2				2						
	消防1係		6					1	3		2		
	救急1係		5					2	1	1	1		
	消防2係		6					2	2		2		
	救急2係		5					1	2	1	1		
	埴生出張所長		1				1						
	埴生消防1係		5						3	1	1		
	埴生消防2係		6					1	3	2			
	小計		41			1	5	8	15	5	7		

() 内は女性職員数

3 消防職員階級別年齢

[単位：人]

年齢	消防監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
20歳未満								7	7
20歳以上25歳未満								30(1)	30
25歳以上30歳未満						14(1)	22(1)	17(1)	53(3)
30歳以上35歳未満						21	9	3	33
35歳以上40歳未満					2	20	1		23
40歳以上45歳未満					21(2)	15			36(2)
45歳以上50歳未満				5	35	12			52
50歳以上55歳未満			3	8	17	4			32
55歳以上		4	3	13	4	7			31
合計		4	6	26	79(2)	93(1)	32(1)	57(2)	297(6)
平均(歳)	62.0	56.5	54.7	53.8	46.9	38.9	28.9	23.7	38.9
再任用職員						7			7
人事交流職員等	1				1				2

() 内は女性職員数

4 消防職員階級別勤続年数

[単位：人]

勤続年数	消防監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
5年未満						1	10	42(1)	53(1)
5年以上10年未満						21(1)	18(1)	15(1)	54(3)
10年以上15年未満						24	4		28
15年以上20年未満					8	12			20
20年以上25年未満				2	23(2)	10			35(2)
25年以上30年未満		1	1	8	37	15			62
30年以上35年未満		2	1	7	5	2			17
35年以上		1	4	9	6	8			28
合計		4	6	26	79(2)	93(1)	32(1)	57(2)	297(6)
平均(年)	1	32.8	35.2	32.0	25.3	17.6	6.2	2.5	17.4
再任用職員						7			7
人事交流職員等	1				1				2

() 内は女性職員数

5 職員研修状況

[単位：人]

研修学科等		受講者数	
消防大学校	専科教育	指揮隊長コース	1
		新任消防長科	1
山口県消防学校	初任総合教育		12
	専科教育	予防査察科	4
		火災調査科	2
		救助科	4
	特別教育	水難救助科	3
		消防団指導科	1
その他の教育	大規模災害対策科	1	
救急救命士養成研修所	救急救命士研修課程・指導救命士養成研修		2
山口県ひとづくり財団	法制執務講座Ⅰ・Ⅱ		1
	窓口応接講座		1
	メンタルマネジメント講座		1
	危機管理実務講座		1
	災害対応講座		1
	プレゼンテーションセミナー		1
	女性職員キャリアアップ講座		1
	契約事務講座		1
	クレーム対応力向上講座		1
	働き方改革講座		1
	議会对応実務講座		1
	その他	KHK 屋外タンク実務担当者研修	
予防技術講習		1	
整備管理者選任前研修		1	
健康管理者研修		1	
消防職員安全衛生研修		1	
火薬類取締法研修		1	
違反処理業務研修		1	
非常時における外国人とのコミュニケーション（消防コース）		1	
衛生推進者養成講習		1	
安全運転管理課程		1	

6 特殊技能・技術資格者

[単位：人]

種別		人数	
自動車免許	大型	11t以上	192
	中型	8t未満	16
		11t未満	54
	準中型	5t未満	9
		7.5t未満	1
	普通	3.5t未満	5
予防	予防技術検定（消防用設備）		29
	予防技術検定（危険物）		30
	予防技術検定（防火査察）		105
情報指令	特殊無線技士（2級）		171
	特殊無線技士（3級）		109
警防・救助	小型船舶操縦士		44
	潜水士		136
	小型移動式クレーン運転技能講習		126
	玉掛技能講習修		120
	足場組立等作業主任者講習		24
	足場の組立て作業等特別教育		1
	酸素欠乏技能講習		16
	酸素欠乏・硫化水素技能講習		34
	ガス溶接技能講習		65
	フルハーネス型安全帯使用作業特別教育		0
	チェンソーによる伐木等特別教育		0

[単位：人]

種別		人数	
救急	救急救命士		57
	指導救命士		5
	認定救命士（薬剤投与）		55
	認定救命士（気管挿管）		39
	認定救命士（薬剤・気管）		39
	救急科（標準課程・Ⅱ課程）		138
その他	整備管理者		6
	衛生管理者		9

7 消防予算(令和2年度当初予算)

(1) 歳入

[単位：千円]

款	令和2年度予算額	令和元年度予算額	比較
分担金及び負担金	2,820,786	2,962,145	△141,359
使用料及び手数料	29,461	28,653	808
県支出金	100,555	62,015	38,540
繰越金	1,000	1,000	0
諸収入	4,959	4,323	636
組合債	397,100	49,200	347,900
歳入合計	3,353,861	3,107,336	246,525

(2) 歳出

[単位：千円]

款	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	比較	令和2年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
議会費	354	354	0				354
総務費	18,890	13,432	5,458			694	18,196
消防費	3,204,456	2,938,863	265,593	100,555	397,100	46,870	2,659,931
公債費	126,161	150,687	△24,526				126,161
予備費	4,000	4,000	0				4,000
歳出合計	3,353,861	3,107,336	△246,525	100,555	397,100	47,564	2,808,642

(3) 分担金の内訳

[単位：千円]

区分 構成市	構成市 当初予算額(A)	構成市 分担金(B)	比率 (%) B/A×100	分担金の内訳	
				分担金	特別分担金
宇部市	68,640,000	1,875,384	2.73	1,764,112	111,272
山陽小野田市	29,651,000	928,852	3.13	872,673	56,179
合計	98,291,000	2,804,236	2.85	2,636,785	167,451

(4) 消防組合予算と管内人口・世帯数との割合

消防組合予算	1人当たりの 消防組合予算	1世帯当たりの 消防組合予算	人口/世帯数
3,353,861,000円	14,866円	30,947円	225,603人
			108,372世帯

(5) 現有消防力と面積・世帯・人口の割合

消防吏員1人に対して			消防署数に対して			常備消防ポンプ自動車 1台に対して			救急自動車1台に対して		
面積 (km ²)	世帯数 (戸)	人口 (人)	面積	世帯数	人口	面積	世帯数	人口	面積	世帯数	人口
1.3	356.4	742.1	104.9	27,093.0	56,400.7	24.6	6,374.8	13,270.7	38.1	9,852.0	20,509.3
304人			4署			17台			11台		

8 消防庁舎

(1) 宇部・山陽小野田消防局，宇部中央消防署

所在地：宇部市港町二丁目3番30号 敷地面積：3,297.84 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造3階建	2,720.68 m ²	H1年1月
訓練塔	鉄筋コンクリート造6階建	264.00 m ²	H1年1月
車庫・点検場	鉄骨造平屋建（泡原液貯蔵タンク6kl）	231.00 m ²	H1年1月
自転車置場	鉄骨造平屋建	25.60 m ²	H1年1月

(2) 小野田消防署（消防訓練研修センター）

所在地：山陽小野田市高栄一丁目6番1号 敷地面積：11,415.85 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造2階建	2,397.30 m ²	H11年3月
電気室棟	コンクリートブロック造平屋建	64.48 m ²	H11年3月
車庫倉庫棟	コンクリートブロック造平屋建	286.83 m ²	H11年3月
駐輪場	鉄骨造平屋建	21.72 m ²	H11年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造5階建（補助塔3階）	342.13 m ²	H12年1月
消火薬剤タンク	鉄骨造（タンクSUS製20kl）	58.36 m ²	H12年3月
消火薬剤倉庫	鉄骨造平屋建	63.90 m ²	H12年3月

(3) 宇部西消防署

所在地：宇部市厚南中央五丁目6番22号 敷地面積：1,974.44 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	684.57 m ²	S53年4月
倉庫棟	ブロック造平屋建	54.92 m ²	S53年4月
自転車置場	鉄骨造平屋建	6.00 m ²	S53年4月
車庫棟	鉄骨造平屋建	102.13 m ²	H16年3月

(4) 山陽消防署

所在地：山陽小野田市大字厚狭487番地9 敷地面積：4,542.94 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	1,290.71 m ²	H25年3月
訓練塔	鉄筋コンクリート造3階建	105.00 m ²	H25年3月
倉庫棟	鉄筋コンクリート造3階建	90.00 m ²	H25年3月
自転車置場	鉄骨造平屋建	15.00 m ²	H25年3月

(5) 宇部中央消防署東部出張所

所在地：宇部市大字西岐波761番地1 敷地面積：1,187.03 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	430.86 m ²	S55年4月
倉庫・自転車置場棟	ブロック造平屋建	30.00 m ²	S55年4月

(6) 宇部西消防署北部出張所

所在地：宇部市大字荒瀬11051番地 敷地面積：1,500.00 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	520.65 m ²	H7年4月

(7) 宇部西消防署楠出張所

所在地：宇部市大字船木461番地1 敷地面積：3,215.19 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	635.24 m ²	H30年3月
訓練棟	鉄筋コンクリート造2階建	26.15 m ²	H30年3月
駐輪場	鉄骨造平屋建	14.70 m ²	H30年3月

(8) 山陽消防署埴生出張所

所在地：山陽小野田市大字埴生3229番地12 敷地面積：853.00 m²

建物等名称	構造	延面積	完成年月
庁舎棟	鉄筋コンクリート造平屋建	243.55 m ²	S56年4月

予 防



少年消防クラブ員夏期研修

宇部市及び山陽小野田市の少年消防クラブ員が山口県消防学校で1泊2日の夏期研修に参加しました。集団生活での規律・礼式を学びながら、火災予防などについて楽しく学習することができました。

令和元年度

住宅防火防災推進シンポジウム

住宅用火災警報器の設置促進、適切な維持管理、その他の住宅用防災機器等の普及及び住宅の防災対策等の推進を目的として、12月20日（金曜日）に宇部市文化会館で「令和元年度住宅防火防災推進シンポジウム」が開催されました。



全国統一防火標語

(過去10年間)

2020年度	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
2019年度	ひとつずつ いいね!で確認 火の用心
平成30年度	忘れてない? サイフにスマホに火の確認
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあただよ
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成23年度	消したはず 決めつけないで もう一度

危険物安全週間(毎年6月の第2週)推進標語

(過去10年間)

令和2年度	訓練で 確かな信頼 積み重ね
平成31年度	無事故への 構え一分の 隙も無く
平成30年度	この一球届け無事故へみんなの願い
平成29年度	あなたなら 無事故の着地 決められる!
平成28年度	危険物 決めろ無事故の ストライク
平成27年度	無事故へと 気持ち集中 はっけよい
平成26年度	危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害
平成25年度	あなたこそ 無事故を担う 司令塔
平成24年度	危険物 めざせ完封 ゼロ災害
平成23年度	危険物無事故のゴールは譲れない!

1 防火対象物

(1) 棟数及び立入検査

防火対象物用途区分			防火対象物数 [単位：棟]			立入検査回数 [単位：件]
			宇 部 市	山陽小野田市	合 計	
1	イ	劇場・映画館	3	6	9	6
	ロ	公会堂・集会場	62	25	87	51
2	イ	キャバレー・カフェー	1		1	
	ロ	遊技場・ダンスホール	25	6	31	13
	ハ	性風俗施設等				
	ニ	カラオケボックス等	6		6	2
3	イ	待合・料理店	2	6	8	6
	ロ	飲食店	156	36	192	90
4		百貨店・マーケット	278	98	376	143
5	イ	旅館・ホテル	35	19	54	98
	ロ	寄宿舎・共同住宅	2,152	576	2,728	403
6	イ	病院・診療所等	185	55	240	67
	ロ	老人短期入所施設等	93	33	126	52
	ハ	老人デイサービスセンター等	175	53	228	79
	ニ	幼稚園・特別支援学校	37	9	46	24
7		小中高大学及び各種学校	284	105	389	119
8		図書館・博物館	5	2	7	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	1		1	
	ロ	公衆浴場	5	1	6	3
10		駅舎・空港	3	4	7	
11		神社・寺院・教会	122	53	175	17
12	イ	工場・作業場	1,053	417	1,470	222
	ロ	映画スタジオ	1		1	
13	イ	自動車車庫	96	32	128	40
	ロ	飛行機等の格納庫	2		2	
14		倉庫	865	323	1,188	134
15		前各号に該当しない事業所	746	358	1,104	158
16	イ	特定用途を含む複合対象物	368	103	471	118
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	262	62	324	44
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		文化財保護法にいう建物	1	1	2	1
18		延長50m以上のアーケード	4		4	
19		市長村長の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			7,028	2,383	9,411	1,893

(2) 防火対象物の定期点検・防災管理対象物状況

[単位：箇所]

防火対象物用途区分			定期点検対象物				防災管理対象物			
			対象物数		特例認定適合対象物数		対象物数		特例認定適合対象物数	
			宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市
1	イ	劇場・映画館	1	2						
	ロ	公会堂・集会場	27	15	3					
2	イ	キャバレー・カフェ								
	ロ	遊技場・ダンスホール	11	2	1					
	ハ	性風俗施設等								
	ニ	カラオケボックス等								
3	イ	待合・料理店								
	ロ	飲食店	5	1						
4		百貨店・マーケット	52	17	1					
5	イ	旅館・ホテル	3	3		1				
	ロ	寄宿舎・共同住宅								
6	イ	病院・診療所等	9	3			1	1		
	ロ	老人短期入所施設等	1							
	ハ	老人デイサービスセンター等								
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3							
7		小中高大学及び各種学校					1	1		
8		図書館・博物館								
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	公衆浴場								
10		駅舎・空港								
11		神社・寺院・教会								
12	イ	工場・作業場					3	1		
	ロ	映画スタジオ								
13	イ	自動車車庫								
	ロ	飛行機等の格納庫								
14		倉庫								
15		前各号に該当しない事業所								
16	イ	特定用途を含む複合対象物	42	10	7	2	5	1	2	
	ロ	特定用途を含まない複合対象物					7	6		
16の2		地下街								
17		文化財保護法にいう建物								
合 計			154	53	12	3	17	10	2	0

2 建築確認同意処理件数

[単位：件]

防火対象物別			区分	宇 部 市				山陽小野田市				総 計
				新 築	増 築	その他	合 計	新 築	増 築	その他	合 計	
1	イ	劇場・映画館										
	ロ	公会堂・集会場					1	1		2	2	
2	イ	キャバレー・カフェー										
	ロ	遊技場・ダンスホール										
	ハ	性風俗施設等										
	ニ	カラオケボックス等										
3	イ	待合・料理店										
	ロ	飲食店	3			3			1	1	4	
4		百貨店・マーケット	8		1	9		1		1	10	
5	イ	旅館・ホテル										
	ロ	寄宿舎・共同住宅	20			20	5			5	25	
6	イ	病院・診療所等	4	2	1	7	1	3		4	11	
	ロ	老人短期入所施設等	2	2		4	2	1		3	7	
	ハ	老人デイサービスセンター等	4		1	5	6		1	7	12	
	ニ	幼稚園・特別支援学校		1		1					1	
7		小中高大学及び各種学校	4	1	1	6					6	
8		図書館・博物館										
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場										
	ロ	公衆浴場										
10		駅舎・空港										
11		神社・寺院・教会	1			1	1			1	2	
12	イ	工場・作業場	17	1		18	10		2	12	30	
	ロ	映画スタジオ										
13	イ	自動車車庫	1			1	1			1	2	
	ロ	飛行機等の格納庫										
14		倉庫	31	2	1	34	6		1	7	41	
15		前各号に該当しない事業所	38	1	1	40	25	1	3	29	69	
16	イ	特定用途を含む複合対象物	4		1	5					5	
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	3			3					3	
16の2		地下街										
16の3		準地下街										
17		文化財保護法にいう建物										
18		延長50m以上のアーケード										
19		市町村長の指定する山林										
20		総務省令で定める舟車										
住 宅			79		6	85	24	1	3	28	113	
危 険 物 施 設			3			3	3			3	6	
そ の 他					2	2	6		2	8	10	
合 計			222	10	15	247	91	8	13	112	359	

3 防火管理者選任状況

[単位：箇所]

防火対象物区分			法第8条該当防火対象物数			防火管理者届出済対象物数		
			宇部市	山陽小野田市	合計	宇部市	山陽小野田市	合計
1	イ	劇場・映画館	1	4	5	1	4	5
	ロ	公会堂・集会場	59	19	78	49	19	68
2	イ	キャバレー・カフェー						
	ロ	遊技場・ダンスホール	13	3	16	12	3	15
	ハ	性風俗施設等						
	ニ	カラオケボックス等	8		8	8		8
3	イ	待合・料理店		3	3		3	3
	ロ	飲食店	157	31	188	135	30	165
4		百貨店・マーケット	208	75	283	195	70	265
5	イ	旅館・ホテル	22	16	38	22	16	38
	ロ	寄宿舎・共同住宅	138	57	195	103	37	140
6	イ	病院・診療所等	37	19	56	35	19	54
	ロ	老人短期入所施設等	59	30	89	54	29	83
	ハ	老人デイサービスセンター等	66	32	98	63	32	95
	ニ	幼稚園・特別支援学校	17	8	25	17	8	25
7		小中高大学及び各種学校	28	27	55	27	26	53
8		図書館・博物館	4	2	6	4	2	6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場	1	1	2	1	1	2
10		駅舎・空港		2	2		1	1
11		神社・寺院・教会	73	28	101	67	28	95
12	イ	工場・作業場	19	48	67	14	41	55
	ロ	映画スタジオ						
13	イ	自動車車庫	2	1	3	2		2
	ロ	飛行機等の格納庫						
14		倉庫	5		5	3		3
15		前各号に該当しない事業所	91	47	138	86	43	129
16	イ	特定用途を含む複合対象物	255	60	315	227	50	277
	ロ	特定用途を含まない複合対象物	184	19	203	170	16	186
16の2		地下街						
17		文化財保護法にいう建物		1	1		1	1
合計			1,447	533	1,980	1,295	479	1,774

4 危険物施設設置状況

[単位：箇所]

区 分		宇 部 市	山陽小野田市	施設別合計
製 造 所		32	37	69
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	104	95	199
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	226	286	512
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	5	1	6
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	67	33	100
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所			
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	102	82	184
	屋 外 貯 蔵 所	20	23	43
取 扱 所	給 油 取 扱 所	72	37	109
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3		3
	第 2 種 販 売 取 扱 所	1		1
	一 般 取 扱 所	194	101	295
	移 送 取 扱 所	2	2	4
構 成 市 別 合 計		828	697	1,525

5 危険物許認可状況

[単位：件]

区 分		設置許可	変更許可	仮使用	設置完成	変更完成	廃 止
製 造 所			51	46		52	3
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	4	5	4	2	4	9
	屋外タンク貯蔵所	4	66	29	2	57	16
	屋内タンク貯蔵所	1			1		2
	地下タンク貯蔵所		1	2		1	3
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	4	2		4	2	4
	屋 外 貯 蔵 所	4	6		9	1	7
小 計		17	80	35	18	65	41
取 扱 所	給 油 取 扱 所	2	12	10	2	8	3
	第1種販売取扱所						
	第2種販売取扱所						
	一 般 取 扱 所	5	105	87	3	87	10
	移 送 取 扱 所						
小 計		7	117	97	5	95	13
合 計		24	248	178	23	212	57

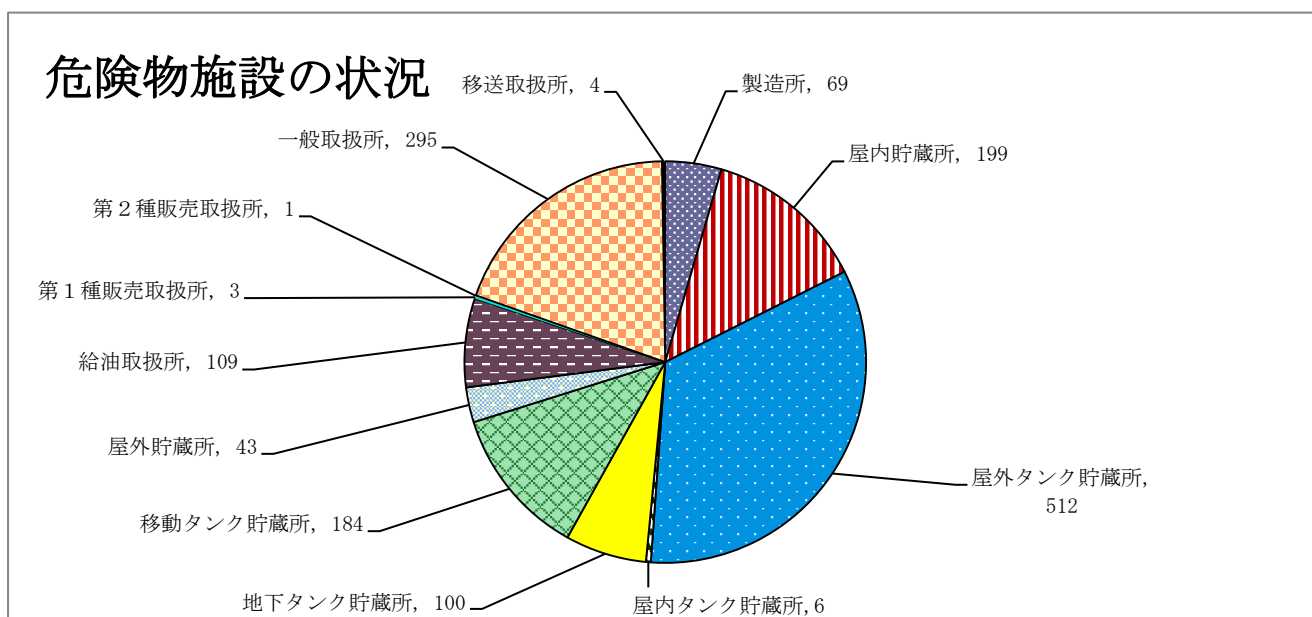
[単位：件]

完成検査前検査	水 張 水 圧 検 査	40
	基 礎 地 盤 検 査	
	溶 接 部 検 査	4
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱		39
水 張 水 圧 検 査 (条 例)		

6 危険物施設の現況及び立入検査状況

[単位：件]

区 分		類別							立 入 検 査 数	
		1類	2類	3類	4類	5類	6類	混類		計
製 造 所		2	2		29		1	35	69	12
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	11	1	6	148	8	1	24	199	41
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		6		486	2	18		512	45
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所				6				6	
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所				100				100	53
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所									
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所				171		13		184	162
	屋 外 貯 蔵 所		1		42				43	5
取 扱 所	給 油 取 扱 所				109				109	62
	第 1 種 販 売 取 扱 所				3				3	
	第 2 種 販 売 取 扱 所				1				1	
	一 般 取 扱 所	1	3		269		5	17	295	85
	移 送 取 扱 所				2		2		4	
合 計	14	13	6	1,366	10	40	76	1,525	465	



7 宇部・小野田地区特別防災区域

(1) 宇部市

東側は、宇部市大字沖宇部字沖ノ山、テクノUMG(株)宇部工場敷地から、西側は厚東川河口の大字西沖ノ山字西沖、宇部市と山陽小野田市の市境までの埋立臨海工業地帯で周防灘に面し、指定区域の総面積は6,659,769平方メートルで、その状況は別図のとおりである。

区域の名称	宇部・小野田地区石油コンビナート等特別防災区域			
市名	宇部市			
市の面積	286.65 km ²			
市の人口	163,544人 (世帯数: 79,387世帯)			
様態	化学工場、火力発電、その他			
地区	面積 m ²	種別及び事業所名		
		第1種事業所	第2種事業所	その他の事業所
東見初町及び大字沖宇部字沖ノ山	1,153,795	◇セントラル硝子(株) 宇部工場 (セントラル化成(株) 宇部工場)	◇テクノUMG(株) 宇部工場	◇宇部吉野石膏(株) ◇(株)東商セントラル ◇セントラル硝子(株) 化学研究所(宇部) ◇宇部市上下水道局 東部浄化センター ◇宇部市環境保全センター ◇セントラルエンジニア リング(株)
大字小串字沖ノ山	2,422,225	◇宇部興産(株) 宇部ケミカル工場 (宇部エムス(有)) (宇部マクセル(株))	◇宇部興産(株) 宇部セメント工場 ◇日興石油(株) 沖の山油槽所 ◇チタン工業(株) 宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場第一工場	◇宇部興産(株)建設資材カン パニー技術開発研究所 ◇宇部興産(株)研究開発本 部 有機化学研究所 ◇(株)宇部スチール ◇宇部興産機械(株) ◇明和化成(株) ◇エムシー・ファーティコ ム(株)宇部工場 ◇宇部マテリアルズ(株) 宇部工場第二工場
大字藤曲字昭和開作	776,986	◇宇部興産(株) 宇部藤曲工場	◇E J ホールディングス (株)宇部事業所 ◇宇部MC過酸化水素(株) 宇部工場	◇協和キリン(株) 宇部工場
大字西沖ノ山字西沖	2,306,763	◇太陽石油(株)山口事業所 (宇部興産(株)西沖の山 石灰石センター) (宇部興産(株)西沖倉庫)		◇宇部興産(株) 特大車西沖給油所
合計	6,659,769	4	7	14

宇部・小野田地区特別防災区域(概要図)



8 火薬類取締法関係処理状況

[単位：件]

区 分 市 別	許 可						
	製造営業	販売営業	譲渡	譲受	消費	廃棄	火薬庫 設置・変更
宇 部 市				5	7		
山陽小野田市			1	5	10	2	
合 計			1	10	17	2	

9 消防協力団体の現況

(1) 宇部・山陽小野田防災協会

ア 目 的

この協会は、消防法に定める危険物関係施設及び一般防火対象物の火災予防に関する法令等の周知徹底と防火思想の普及高揚に努めるとともに、会員相互の連絡と親睦を図り、もって各種災害の未然防止及び災害が発生した場合の被害の軽減に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) 消防関係法令の周知徹底並びに消防機関との連絡協調に関すること。
- (イ) 消防関係法令に基づいて消防機関へ提出する申請書、届出書等の斡旋、配布に関すること。
- (ウ) 防火管理者、危険物取扱者並びに消防設備士の研修及び講習会の開催に関すること。
- (エ) 火災予防のために必要な対策の研究及び調査に関すること。
- (オ) 火災予防の広報及び刊行物の発行、斡旋に関すること。
- (カ) 危険物に起因する災害が発生した場合の化学消火薬剤の共同備蓄に関すること。
- (キ) この協会の目的達成に功績のあった団体及び個人の表彰に関すること。
- (ク) 少年消防クラブ等の自主防災活動の助成に関すること。
- (ケ) 救急思想の普及及び啓発活動に関すること。
- (コ) その他、この協会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

ウ 会 員

555 事業所

エ 事 務 局

宇部・山陽小野田消防局（予防課）

(2) 宇部・山陽小野田防火委員会

ア 目 的

本会は、宇部市及び山陽小野田市における幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブの運営指導について研究し、助言し、育成発展に寄与することを目的とする。

イ 事 業

- (ア) クラブの情報の収集及び交換に関すること。
- (イ) クラブの運営指導の研究に関すること。
- (ウ) クラブの育成指導に関すること。
- (エ) 教養資料の編さん及び頒布に関すること。
- (オ) クラブ、クラブ員及びクラブ指導者の表彰に関すること。
- (カ) その他、本会の目的達成のため必要な事項に関すること。

ウ クラブ数

区分	クラブ名称	結成年月	人数 (人)
幼年消防クラブ	恩田幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	84
	聖和幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	64
	命信寺保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	28
	桃山保育園幼年消防クラブ	昭和 59 年 10 月	20
	若蔦幼稚園幼年消防クラブ	昭和 60 年 4 月	1
	原中央幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 2 月	65
	小羽山幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 5 月	19
	明光幼稚園幼年消防クラブ	昭和 63 年 3 月	113
	船木幼稚園幼年消防クラブ	昭和 59 年 9 月	11
	宇部さゆり幼稚園幼年消防クラブ	平成 28 年 4 月	28
	真珠幼稚園幼年消防クラブ	昭和 58 年 9 月	39
	石井手保育園幼年消防クラブ	昭和 60 年 6 月	26
	焼野保育園幼年消防クラブ	平成 2 年 7 月	27
	伸宏保育園幼年消防クラブ	平成 5 年 8 月	17
	西福寺保育園幼年消防クラブ	平成 5 年 10 月	13
	さくら保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 8 月	26
	須恵保育園幼年消防クラブ	平成 6 年 10 月	26
	日の出保育園幼年消防クラブ	平成 8 年 9 月	31
少年消防クラブ	厚南地区少年消防クラブ	昭和 55 年 4 月	48
	恩田地区少年消防クラブ	昭和 55 年 5 月	10
	高千帆中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	472
	小野田中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	341
	竜王中学校少年消防クラブ	昭和 26 年 9 月	229
	厚狭中学校少年消防クラブ	昭和 45 年 3 月	346
	埴生中学校少年消防クラブ	昭和 46 年 3 月	108
	厚陽中学校少年消防クラブ	昭和 47 年 6 月	34
婦人防火クラブ	新川女性防火クラブ	昭和 55 年 6 月	15
総計	27 団体		2,241

警

防



警防技術練成会

火災現場における安全に対する理解と認識を深め、「安全・確実・迅速」な消防活動の習得を図るとともに、指導職員の訓練指導能力及び安全管理能力の向上、並びに技術・知識を伝承することを目的とし練成会を実施しました。

救急救命スキルアップセミナー（第12回）

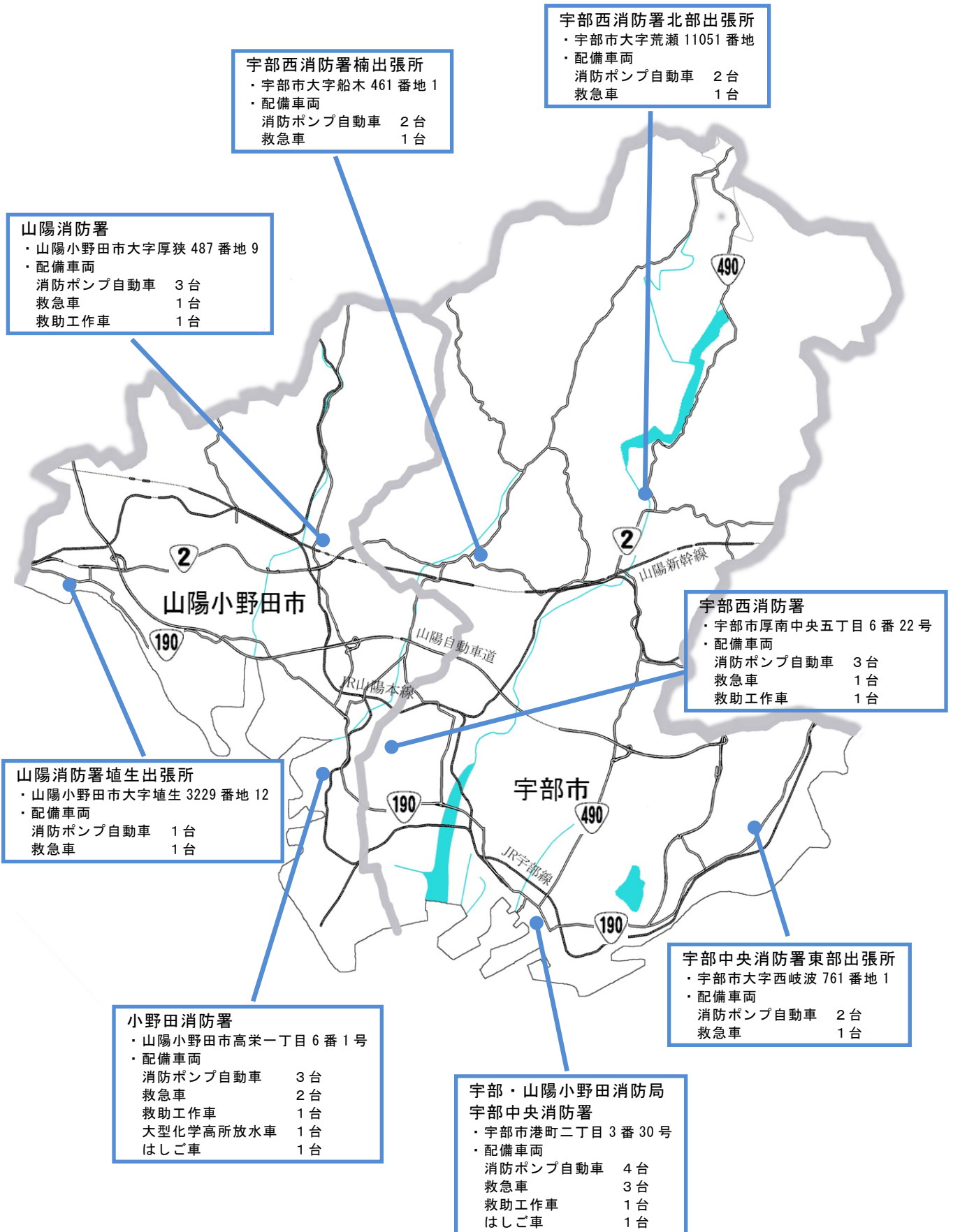
本セミナーは地域MCに限らず、県単位で同一に学び、情報を共有し各地域の現場で生かしてもらうことを目的として開催しています。毎年、県内から100人を超える救急隊員等が参加し県内の研修の場として大変人気となっています。



緊急消防援助隊

		登録隊数	
		山口県全体	宇部・山陽小野田消防局
山口県大隊	県大隊指揮隊	3	1
	消火小隊	33	6
	救助小隊	9	2
	救急小隊	24	2
	後方支援小隊	16	2
	特殊災害小隊	6	
	特殊装備小隊	9	
合計	100	13	

1 消防配置図



2 消防車両

所属	車両名称	種別	車 両 メーカ	導入年月	ポンプ級別等
消防局	本部 1	人 員 輸 送 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	
	本部 2	支 援 車	マ ツ ダ	H20 年 2 月	
	本部 3	支 援 車	ト ヨ タ	H28 年 12 月	
	本部 4	支 援 車	三 菱	R2 年 1 月	
	本部 5	連 絡 車	ス ズ キ	H27 年 7 月	
	本部 6	連 絡 車	ス ズ キ	H27 年 8 月	
	本部 7	支 援 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	本部 9	支 援 車	ト ヨ タ	H30 年 12 月	
宇部中央消防署	中央指揮 1	指 揮 車	い す ゞ	H13 年 3 月	
	中央はしご 1	はしご付消防自動車	日 野	H22 年 11 月	
	中央タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H26 年 12 月	A-2
	中央ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H20 年 12 月	A-2
	中央ポンプ 2	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H30 年 2 月	A-2
	中央資材 1	資 機 材 搬 送 車	三 菱	H12 年 2 月	
	中央資材 2	資 機 材 搬 送 車	い す ゞ	R2 年 2 月	2.6t クレーン付
	中央化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H24 年 3 月	A-2
	中央救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H13 年 12 月	
	中央充填 1	空 気 充 填 車	日 野	H15 年 2 月	
	中央救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H28 年 1 月	
	中央救急 2	救 急 車	ト ヨ タ	H31 年 2 月	
	中央救急 3	救 急 車	ト ヨ タ	H27 年 3 月	
	中央 1	広 報 車	ダイハツ	H27 年 12 月	
	中央 2	支 援 車	ト ヨ タ	H31 年 1 月	
	宇部中央消防署 東部出張所	東タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R2 年 2 月
東ポンプ 1		消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H28 年 3 月	A-2
東救急 1		救 急 車	ト ヨ タ	H24 年 2 月	
東 1		広 報 車	ス バ ル	H14 年 3 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカ	導入年月	ポンプ級別等
宇部西消防署	西指揮 1	指 揮 車	三 菱	H22 年 3 月	
	西タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H29 年 3 月	A-2
	西ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H27 年 3 月	A-2
	西化学 1	化学消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A-2
	西救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 11 月	
	西救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H29 年 3 月	
	西資材 1	資 機 材 搬 送 車	三 菱	H29 年 12 月	
宇部西消防署 北出張所	北タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H25 年 2 月	A-2
	北ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H28 年 3 月	A-2
	北救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 3 月	
	北 1	広 報 車	ダイハツ	H30 年 12 月	
宇部西消防署 楠出張所	楠タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 12 月	A-2
	楠ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H19 年 11 月	A-2
	楠救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H25 年 12 月	
	楠 1	広 報 車	三 菱	H21 年 11 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカ	導入年月	ポンプ級別等
小野田消防署	小野田指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	H30 年 2 月	
	小野田はしご 1	はしご付消防自動車	日 野	H14 年 2 月	
	小野田タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H20 年 2 月	A-2
	小野田タンク 2	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	R2 年 2 月	A-2
	小野田ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H29 年 3 月	A-2
	小野田水槽 1	小型動力ポンプ付水槽車	い す ゞ	H10 年 3 月	B-2 (小型動力ポンプ)
	小野田資材 1	資 機 材 搬 送 車	い す ゞ	H31 年 2 月	2.6t クレーン付
	小野田大化高 1	大型化学高所放水車	日 野	H26 年 3 月	A-1
	小野田原液 1	泡 原 液 搬 送 車	日 野	H17 年 2 月	ギヤ式ローター ポンプ
	小野田救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H20 年 3 月	
	小野田救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H31 年 3 月	
	小野田救急 2	救 急 車	ト ヨ タ	H28 年 3 月	
	小野田 1	支 援 車	ト ヨ タ	H20 年 12 月	
	小野田 2	人 員 輸 送 車	日 野	R2 年 1 月	
	小野田 4	広 報 車	ダイハツ	H29 年 12 月	
	小野田 5	訓 練 指 導 車	マ ツ ダ	H16 年 8 月	

所属	車両名称	種別	車 両 メーカ	導入年月	ポンプ級別等
山陽消防署	山陽指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	H17 年 2 月	
	山陽タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H31 年 2 月	A-2
	山陽ポンプ 1	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	H29 年 3 月	A-2
	山陽資材 1	資 機 材 搬 送 車	ト ヨ タ	H13 年 1 月	2.93t クレーン付き
	山陽大化 1	大型化学消防ポンプ自動車	日 野	H21 年 3 月	A-1
	山陽救助 1	救 助 工 作 車	日 野	H22 年 3 月	
	山陽救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H27 年 3 月	
	山陽 1	広 報 車	ト ヨ タ	H15 年 2 月	
山陽出張所	埴生タンク 1	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	H16 年 1 月	A-2
	埴生救急 1	救 急 車	ト ヨ タ	H30 年 1 月	
	埴生 1	広 報 車	ダイハツ	H27 年 12 月	

3 消防水利

(1) 消火栓

[単位：基]

公設私設別	市 別	宇 部 市	山陽小野田市
	公 設		1,964
私 設		239	62
合 計		2,203	1,400

(2) 防火水槽

() 耐震性貯水槽

[単位：基]

容量別	市 別	宇 部 市		山陽小野田市	
		公 設	私 設	公 設	私 設
20 m ³ 以上 40 m ³ 未満		8 (0)	3 (0)	12 (0)	4 (0)
40 m ³ 以上 60 m ³ 未満		101 (15)	41 (13)	145 (0)	22 (2)
60 m ³ 以上 100 m ³ 未満		12 (10)	4 (0)	0 (0)	1 (0)
100 m ³ 以上		5 (4)	2 (0)	11 (10)	0 (0)
合 計		126 (29)	50 (13)	168 (10)	27 (2)

(3) その他

[単位：箇所]

種別	市 別	宇 部 市	山陽小野田市
	プール・河川・溝・濠・池 海・湖・井戸・下水道等		80

4 化学消火剤備蓄状況

[単位：リットル]

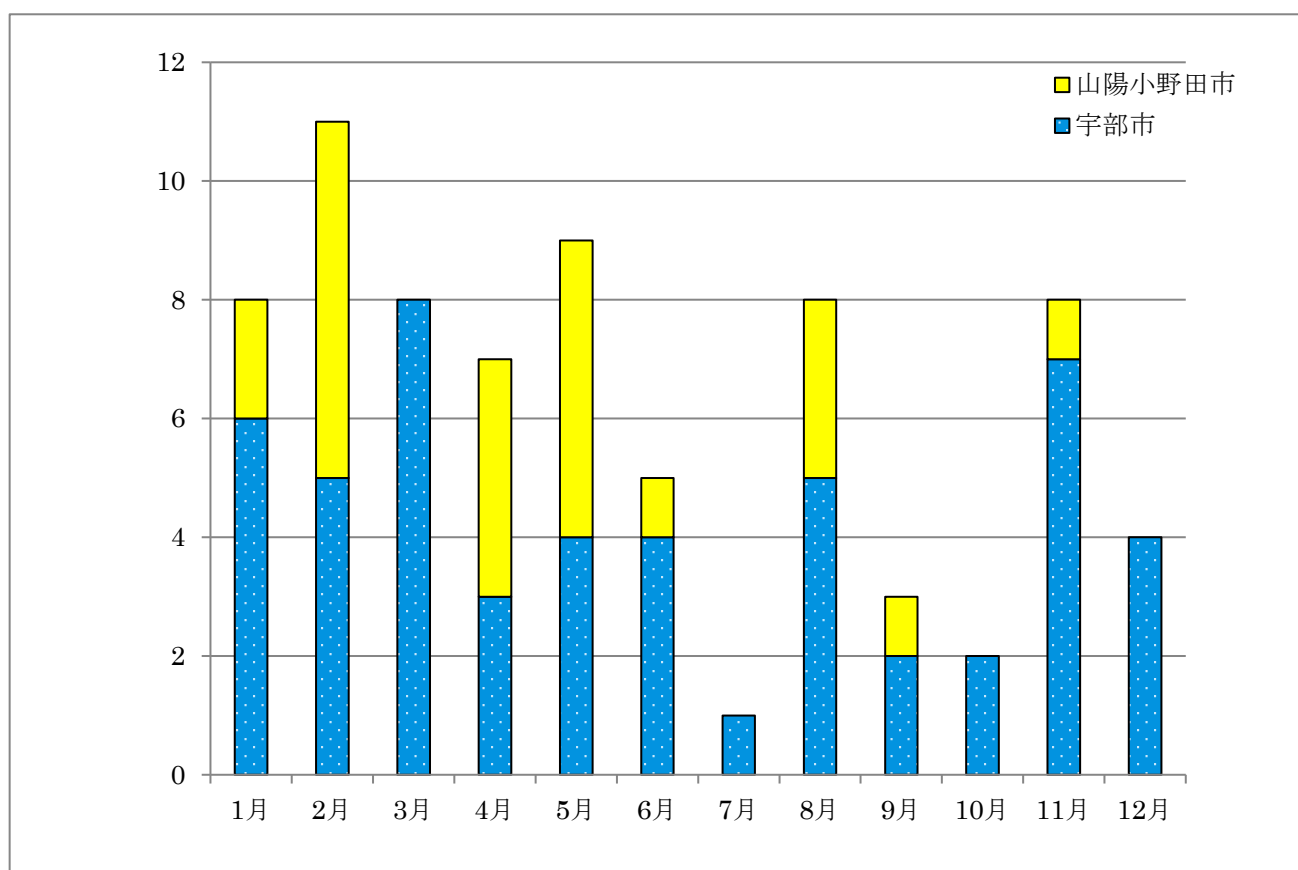
種類	消防組合保有		防災協会保有	合 計
	宇部市備蓄	山陽小野田市備蓄		
たん白系3%型			400	400
フッ化たん白		19,240	16,200	35,440
合成界面活性系	2,080		17,840	19,920
水成膜3%型	600		8,600	9,200
合 計	2,680	19,240	43,040	64,960

5 火災

(1) 月別火災発生状況

[単位：件]

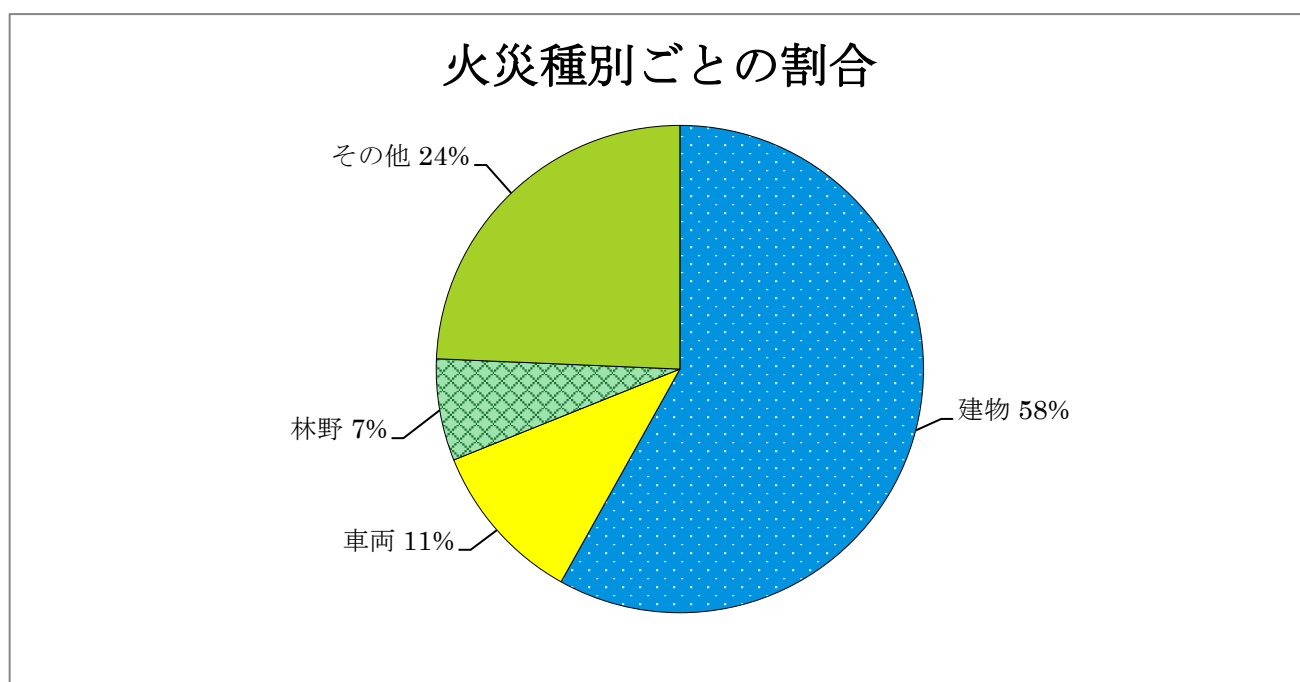
市別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
宇部市	6	5	8	3	4	4	1	5	2	2	7	4	51
山陽小野田市	2	6		4	5	1		3	1		1		23
合計	8	11	8	7	9	5	1	8	3	2	8	4	74



(2) 火災種別ごとの件数

[単位：件]

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
	宇 部 市		32	3	4			12
山陽小野田市		11	5	1			6	23
合 計		43	8	5			18	74



(3) 火災種別ごとの死者及び負傷者

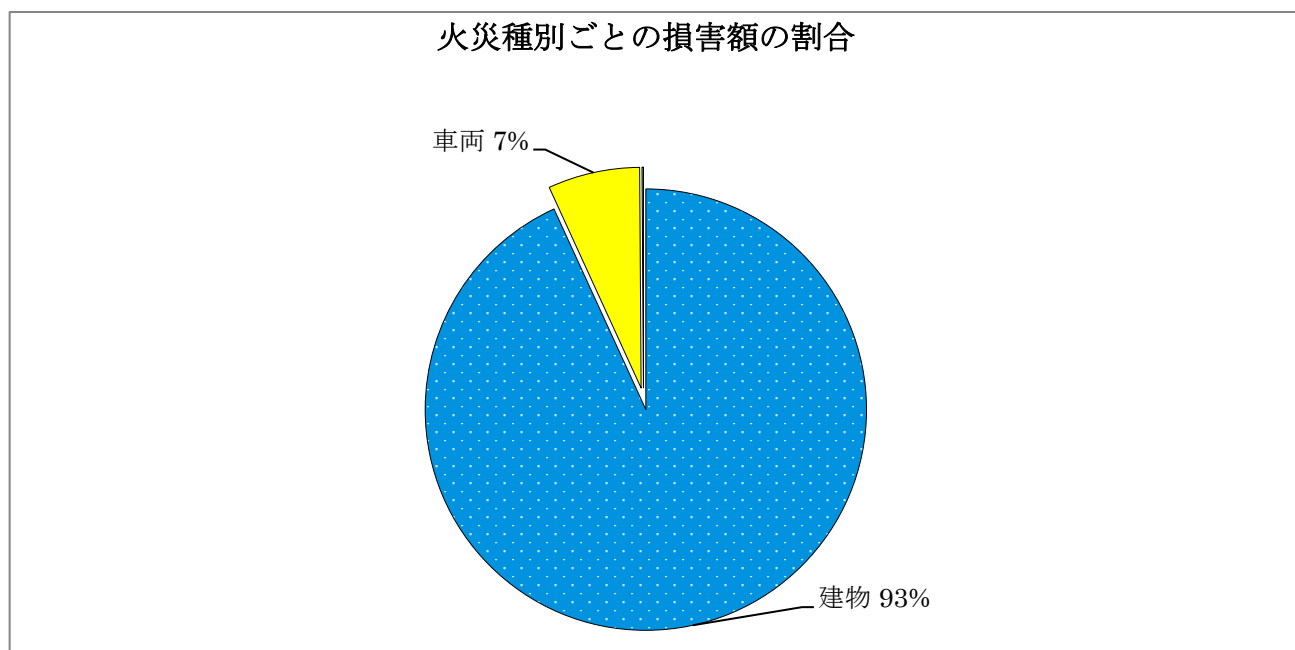
[単位：人]

市別	種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
	宇 部 市	死 者						
負傷者		13	1	1				15
山陽小野田市	死 者							
	負傷者	3					1	4
合 計	死 者							
	負傷者	16	1	1			1	19

(4) 火災種別ごとの損害額

[単位：千円]

市別	種別	建 物		車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	合 計
		建 物	収容物等						
宇 部 市	建 物	91,243		206				150	122,619
	収容物等	31,020							
山陽小野田市	建 物	4,260		9,265					18,146
	収容物等	4,621							
合 計	建 物	95,503		9,471				150	140,765
	収容物等	35,641							



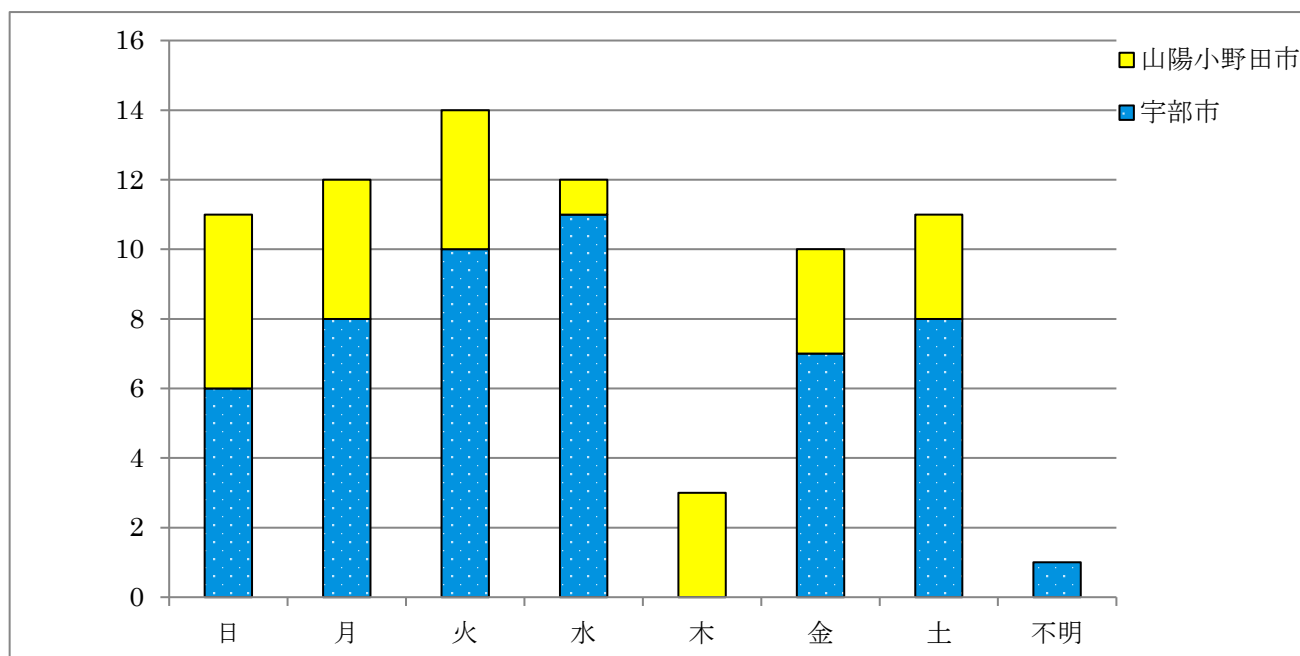
(5) 焼損面積

市別	種別	建 物 (㎡)		林 野 (a)	その他 (㎡)
		焼損床面積	焼損表面積		
宇 部 市		2,107	62	11	2,618
山陽小野田市		342	101	1	1,082
合 計		2,449	163	12	3,700

(6) 曜日別火災発生状況

[単位：件]

月別 曜日別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
日		3	1	2	1			2	1			1	11
月	1	1	2	1	1	2	1	2			1		12
火	1	3		1	1			1	1	1	4	1	14
水	1	2	1		3	1		2	1		1		12
木				1	2								3
金	3	1	1		1	1					1	2	10
土	1	1	3	2		1		1		1	1		11
不明	1												1
合計	8	11	8	7	9	5	1	8	3	2	8	4	74

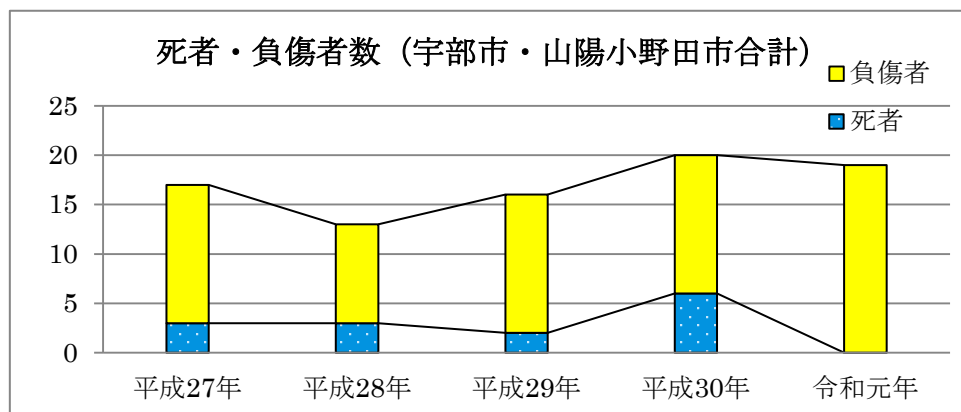
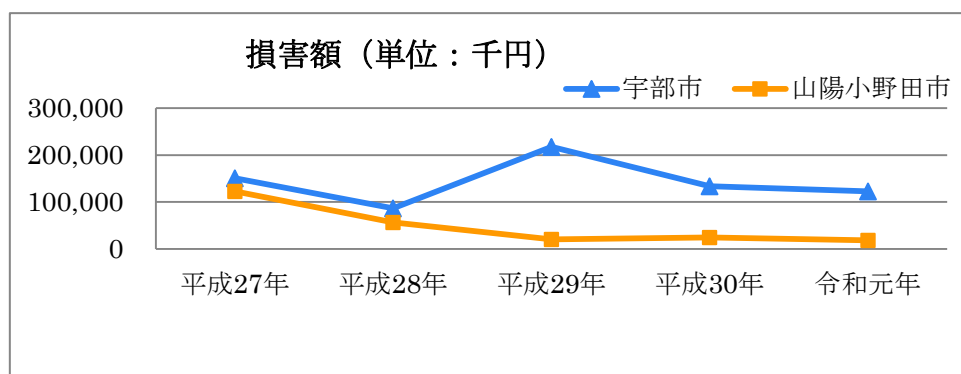
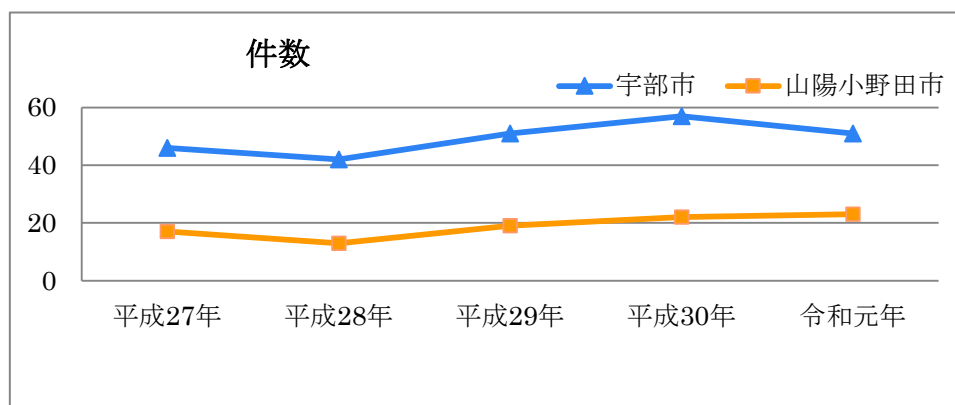


(7) 時間帯別火災発生状況

時間帯	件数・死傷者数 件数 (件)	死傷者 (人)	
		死 者	負傷者
0時～1時	2		2
1時～2時	1		
2時～3時	2		
3時～4時	2		
4時～5時			
5時～6時			
6時～7時			
7時～8時	1		
8時～9時	1		
9時～10時	3		1
10時～11時	5		
11時～12時	9		4
12時～13時	7		3
13時～14時	4		
14時～15時	4		2
15時～16時	3		1
16時～17時	1		1
17時～18時	8		1
18時～19時	8		2
19時～20時	4		1
20時～21時	4		1
21時～22時	2		
22時～23時	1		
23時～24時	1		
不 明	1		
合 計	74	0	19

(8) 過去5年間の火災発生状況

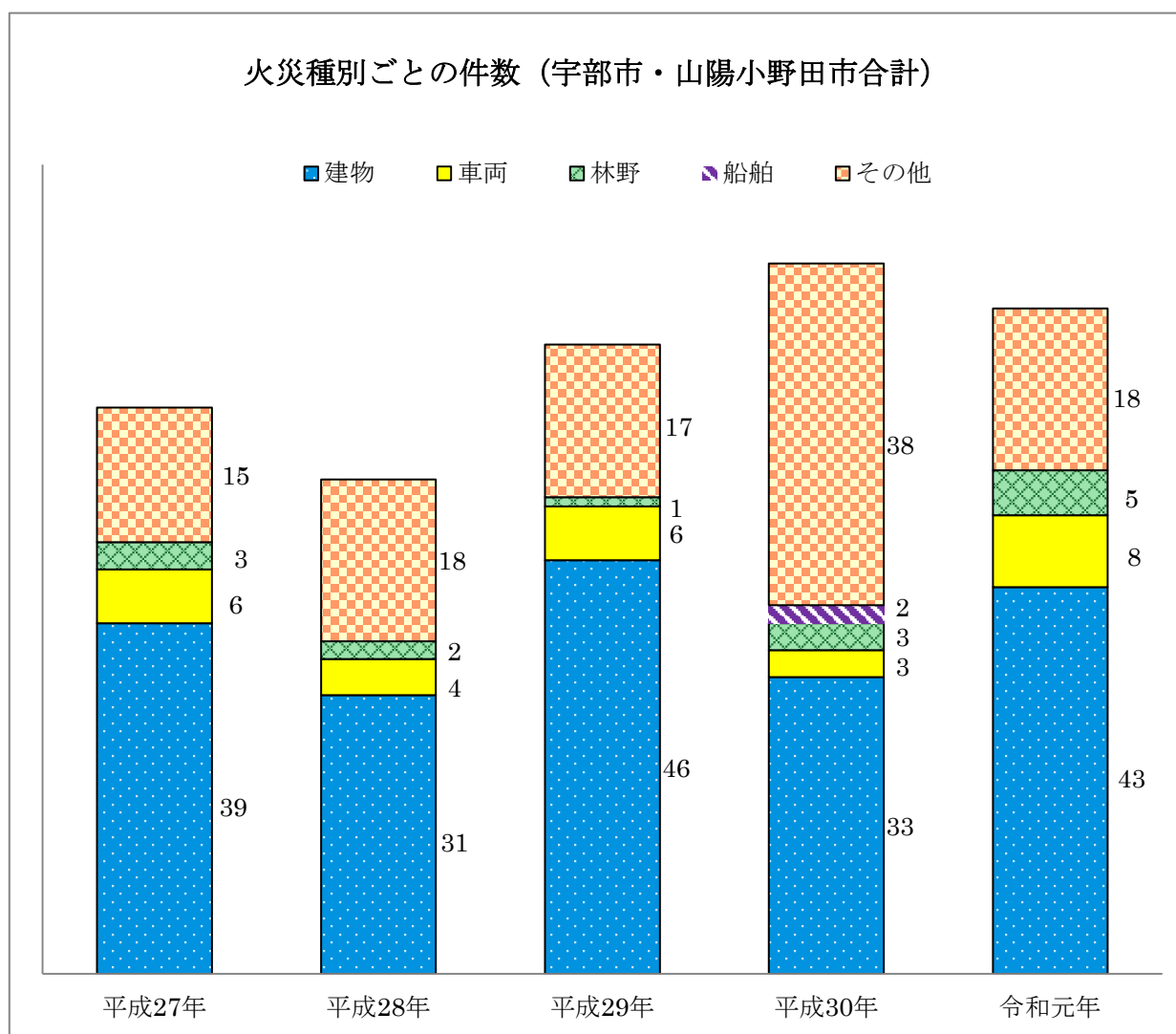
年別	件数 (件)		損害額 (千円)		死傷者 (人)			
	宇部市	山陽小野田市	宇部市	山陽小野田市	宇部市		山陽小野田市	
					死者	負傷者	死者	負傷者
平成27年	46	17	150,652	122,941	3	11		3
平成28年	42	13	86,606	56,626	3	8		2
平成29年	51	19	217,240	20,395	1	11	1	3
平成30年	57	22	133,263	24,619	4	12	2	2
令和元年	51	23	122,619	18,146		15		4



(9) 過去5年間の火災種別件数

[単位：件]

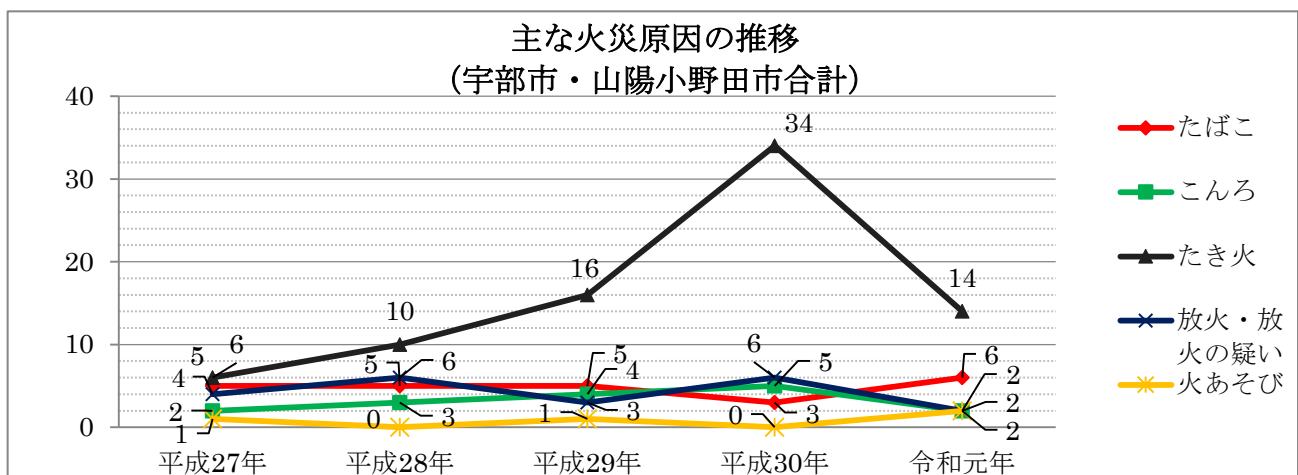
年別		種別	建 物	車 両	林 野	航空機	船 舶	その他	計	合 計
平成27年	宇 部 市		29	4	3			10	46	63
	山陽小野田市		10	2				5	17	
平成28年	宇 部 市		24	4	1			13	42	55
	山陽小野田市		7		1			5	13	
平成29年	宇 部 市		32	5	1			13	51	70
	山陽小野田市		14	1				4	19	
平成30年	宇 部 市		26	2	2		1	26	57	79
	山陽小野田市		7	1	1		1	12	22	
令和元年	宇 部 市		32	3	4			12	51	74
	山陽小野田市		11	5	1			6	23	



(10) 過去5年間の火災原因別件数

[単位：件]

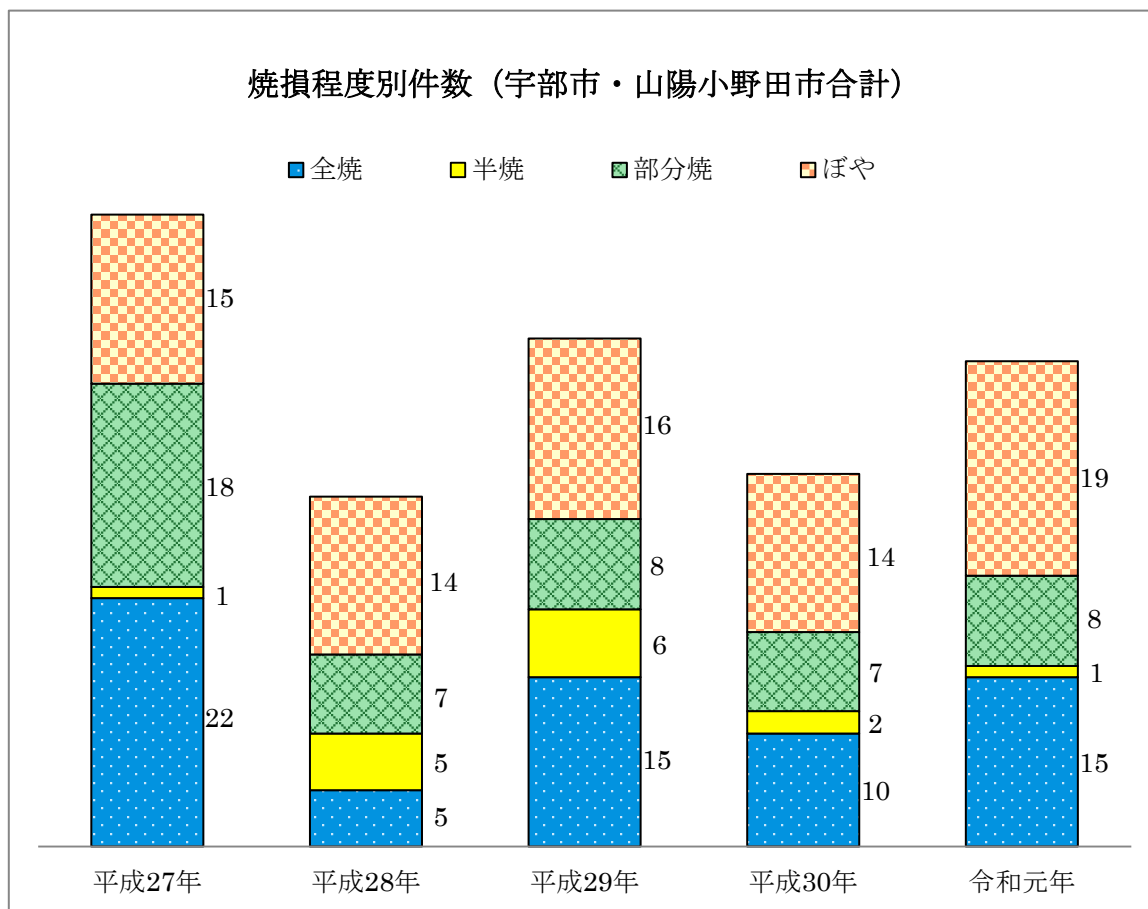
年別 原因別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
たばこ	5	5	5	3	6
こんろ	2	3	4	5	2
風呂かまど	2		1	1	1
炉			1	1	
焼却炉			2	1	
ストーブ	1	1	2		2
こたつ			1		
煙突・煙道			3	1	
排気管			2	1	
電気機器	1	1	2	1	1
電気装置			1		2
電灯等の配線				1	
内燃機関					1
配線器具	2	1	1	3	3
火あそび	1		1		2
ライター等	2	2		1	2
たき火	6	10	16	34	14
溶接機・切断機	3		1		
灯火	2	1			
取灰			1		
火入れ				1	
放火	1	4	2	2	
放火の疑い	3	2	1	4	2
その他	13	12	11	3	15
不明・調査中	19	13	12	16	21
合計	63	55	70	79	74



(11) 過去5年間の焼損程度別件数（爆発損害を除く）

[単位：件]

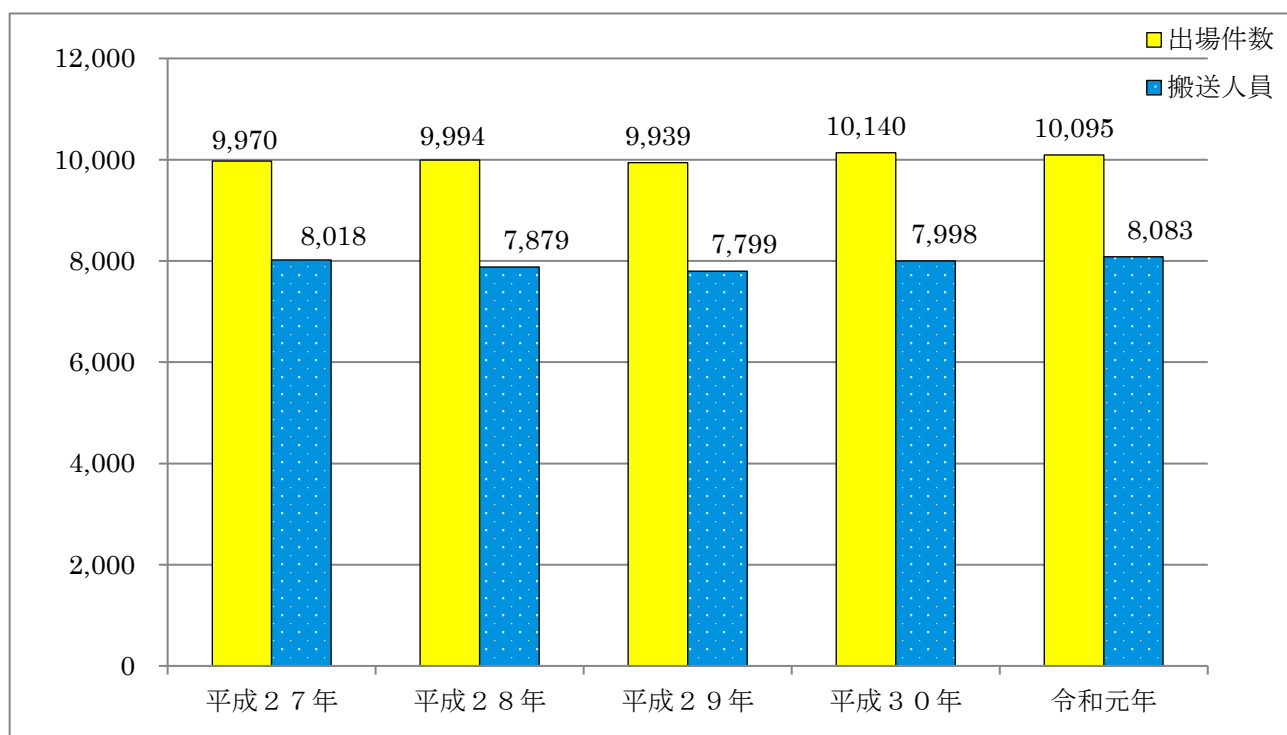
年別		焼損別				計	合計
		全焼	半焼	部分焼	ぼや		
平成27年	宇部市	14	1	10	14	39	56
	山陽小野田市	8		8	1	17	
平成28年	宇部市	4	4	5	12	25	31
	山陽小野田市	1	1	2	2	6	
平成29年	宇部市	12	4	6	10	32	45
	山陽小野田市	3	2	2	6	13	
平成30年	宇部市	8	1	5	12	26	33
	山陽小野田市	2	1	2	2	7	
令和元年	宇部市	11	1	7	13	32	43
	山陽小野田市	4		1	6	11	



6 救急

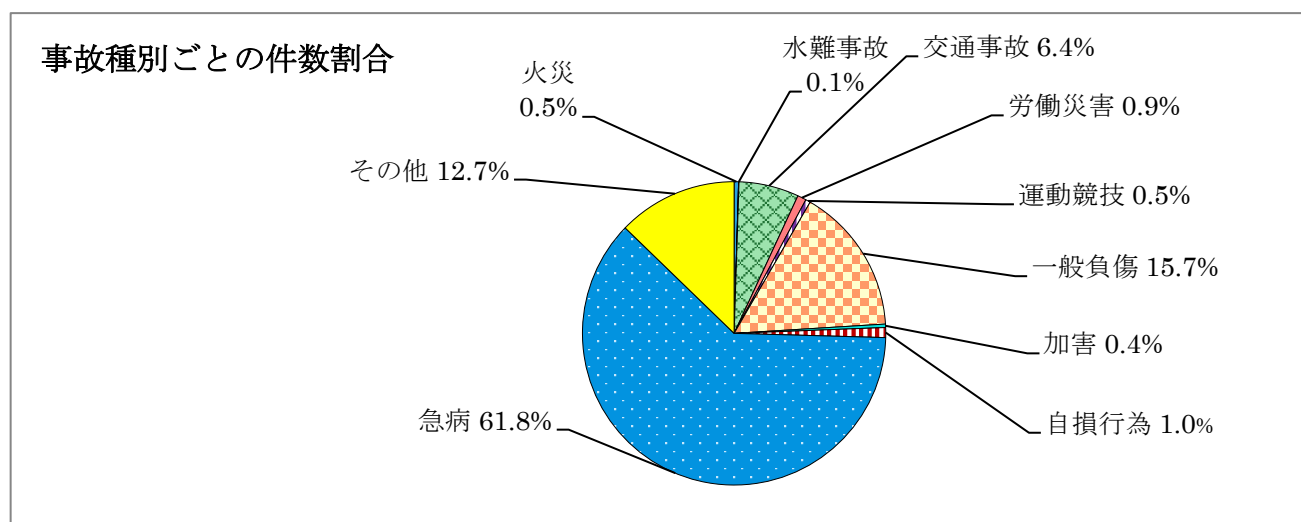
(1) 過去5年間の救急状況

年別	区分	出場件数	搬送人員	1日平均 出場件数	1日平均 搬送人員
		(件)	(人)	(件)	(人)
平成27年	宇部市	6,947	5,475	19.0	15.0
	山陽小野田市	3,023	2,543	8.3	7.0
	合計	9,970	8,018	27.3	22.0
平成28年	宇部市	7,021	5,464	19.2	14.9
	山陽小野田市	2,973	2,415	8.1	6.6
	合計	9,994	7,879	27.3	21.5
平成29年	宇部市	6,951	5,398	19.0	14.8
	山陽小野田市	2,988	2,401	8.2	6.6
	合計	9,939	7,799	27.2	21.4
平成30年	宇部市	7,234	5,665	19.8	15.5
	山陽小野田市	2,906	2,333	8.0	6.4
	合計	10,140	7,998	27.8	21.9
令和元年	宇部市	7,182	5,750	19.7	15.8
	山陽小野田市	2,913	2,333	8.0	6.4
	合計	10,095	8,083	27.7	22.1



(2) 事故種別ごとの出場・搬送状況

事故種別		市別		
		宇 部 市	山陽小野田市	合 計
火 災	出場件数 (件)	34	14	48
	搬送人員 (人)	10	4	14
自然災害	出場件数			
	搬送人員			
水難事故	出場件数	3	1	4
	搬送人員	1		1
交通事故	出場件数	468	178	646
	搬送人員	320	132	452
労働災害	出場件数	59	35	94
	搬送人員	56	32	88
運動競技	出場件数	20	32	52
	搬送人員	19	29	48
一般負傷	出場件数	1,147	434	1,581
	搬送人員	921	356	1,277
加 害	出場件数	28	9	37
	搬送人員	17	6	23
自損行為	出場件数	74	33	107
	搬送人員	46	20	66
急 病	出場件数	4,484	1,754	6,238
	搬送人員	3,695	1,413	5,108
そ の 他	出場件数	865	423	1,288
	搬送人員	665	341	1,006
合 計	出場件数	7,182	2,913	10,095
	搬送人員	5,750	2,333	8,083

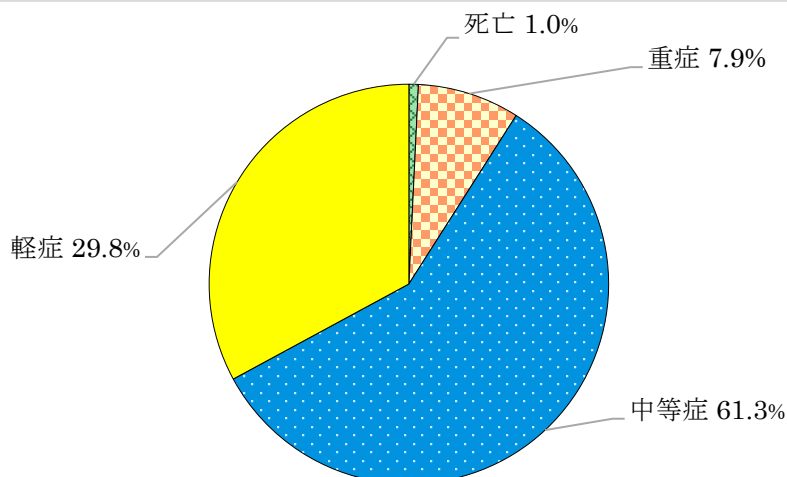


(3) 事故種別・傷病程度別搬送人員

[単位：人]

事故種別		傷病程度					合計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
火災	宇部市		1	1	8		10
	山陽小野田市		2		2		4
自然災害	宇部市						
	山陽小野田市						
水難事故	宇部市		1				1
	山陽小野田市						
交通事故	宇部市	1	18	108	193		320
	山陽小野田市	1	7	41	83		132
労働災害	宇部市		5	29	22		56
	山陽小野田市			13	19		32
運動競技	宇部市			8	11		19
	山陽小野田市		1	8	20		29
一般負傷	宇部市	6	98	500	317		921
	山陽小野田市	3	47	183	123		356
加害	宇部市			8	9		17
	山陽小野田市			1	5		6
自損行為	宇部市	4	6	15	21		46
	山陽小野田市	1	1	13	5		20
急病	宇部市	36	220	2,342	1,097		3,695
	山陽小野田市	26	88	856	443		1,413
その他	宇部市		80	562	23		665
	山陽小野田市		64	272	5		341
合計	宇部市	47	429	3,573	1,701		5,750
	山陽小野田市	31	210	1,387	705		2,333
	合計	78	639	4,960	2,406		8,083

傷病程度別搬送人員割合



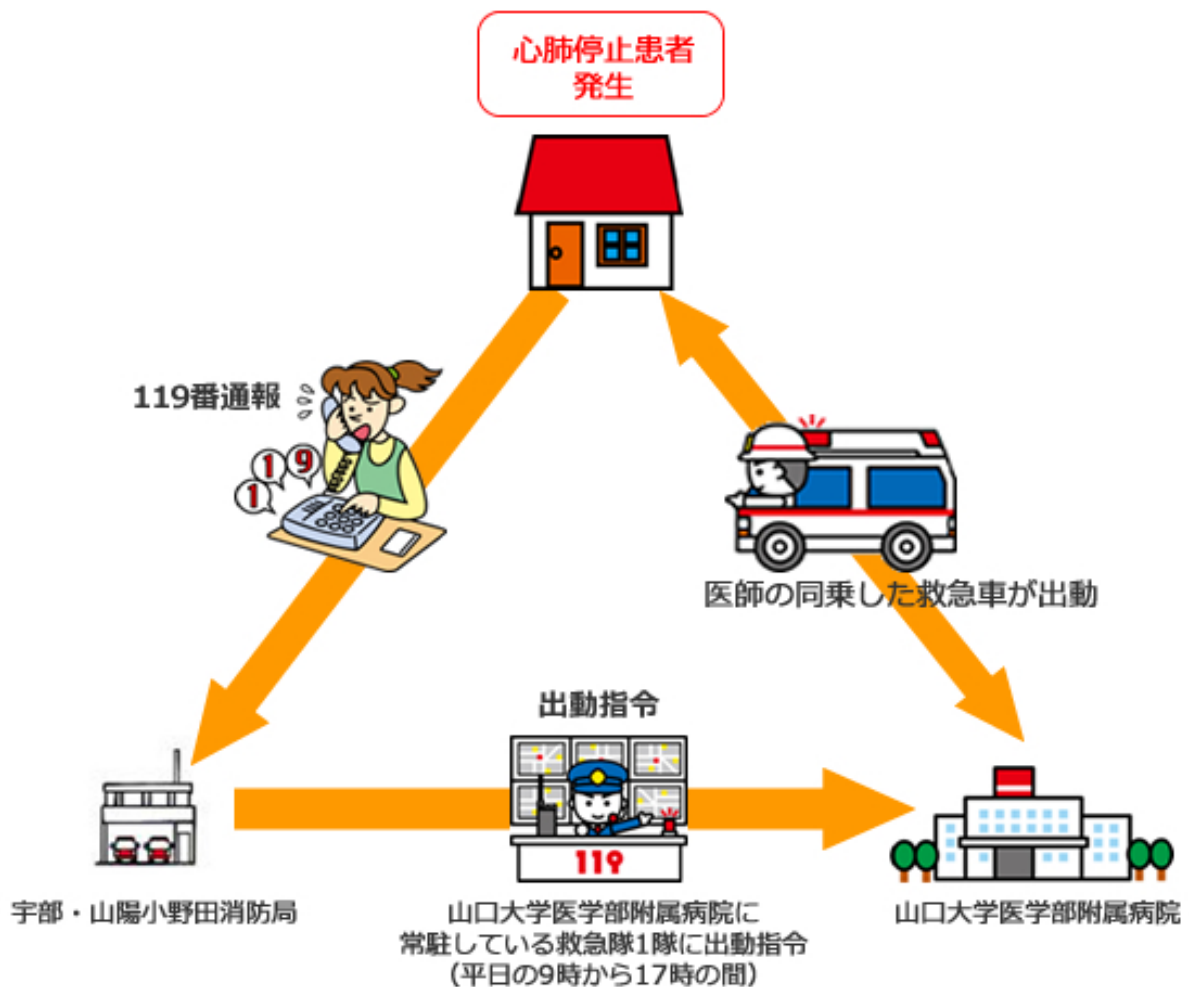
(4) 救急車医師同乗システム（ドクターカー） 出場件数及び活動件数

事故種別 区分	計	火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転院 搬送	医師 搬送
出場件数 (件)	171	1		1	10			8	1	4	43		103
活動件数 (件)	68	1		1	10			8	1	4	43		

救急車医師同乗システム（ドクターカー）

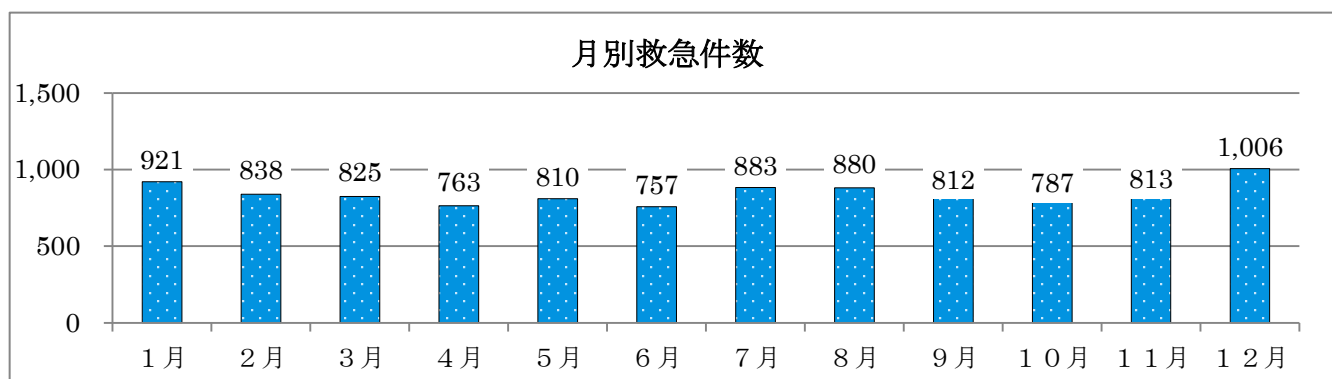
システム概要

救急車医師同乗システム（通称：ドクターカー）の内容



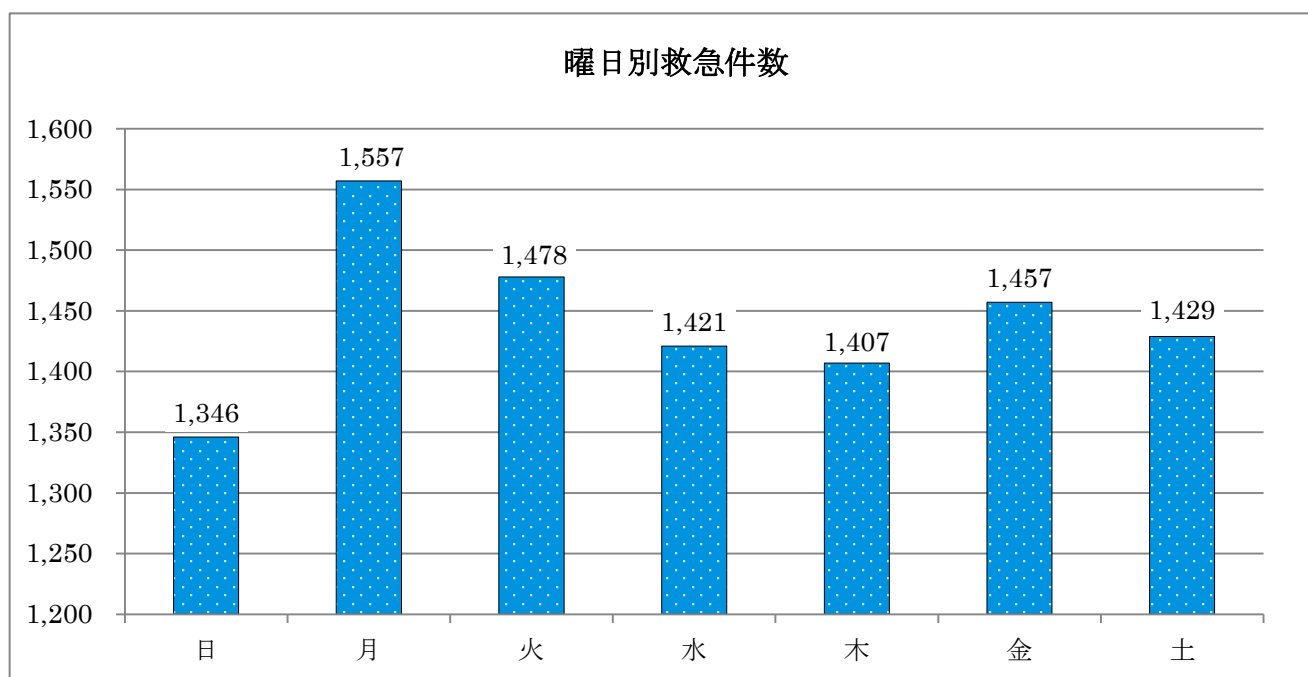
(5) 事故種別・月別出場件数及び搬送人員

月別	事故種別	計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
			災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
			害	害	事	事	災	競	負		行		他
					故	故	害	技	傷		為		
1月	件数(件)	921	6			39	5	3	127	1	9	606	125
	人員(人)	712	2			24	5	3	98		7	479	94
2月	件数	838	8			42	9	4	135	5	5	510	120
	人員	683	5			32	9	4	114	2	3	420	94
3月	件数	825	6			57	9	3	99	2	14	530	105
	人員	614	2			34	8	3	78	2	6	405	76
4月	件数	763	3			50	9	4	125	2	9	456	105
	人員	607				41	9	4	100	2	7	362	82
5月	件数	810	5		2	62	4	7	126	4	7	493	100
	人員	660	1			44	3	8	102	1	6	409	86
6月	件数	757	2			45	8	4	125	6	10	481	76
	人員	608				29	7	3	94	3	8	398	66
7月	件数	883	1			55	11	6	110	4	10	572	114
	人員	737				41	9	5	86	4	7	492	93
8月	件数	880	4			61	9	7	152	2	5	550	90
	人員	731	1			42	9	6	127	2	4	466	74
9月	件数	812	4		1	48	15	8	132	4	12	496	92
	人員	662				35	15	7	113	2	7	407	76
10月	件数	787				70	5	3	135		10	447	117
	人員	624				49	5	3	107		4	371	85
11月	件数	813	3		1	52	6		150	4	8	471	118
	人員	662			1	42	5		125	2	3	392	92
12月	件数	1,006	6			65	4	3	165	3	8	626	126
	人員	783	3			39	4	2	133	3	4	507	88
合計	件数	10,095	48		4	646	94	52	1,581	37	107	6,238	1,288
	人員	8,083	14		1	452	88	48	1,277	23	66	5,108	1,006



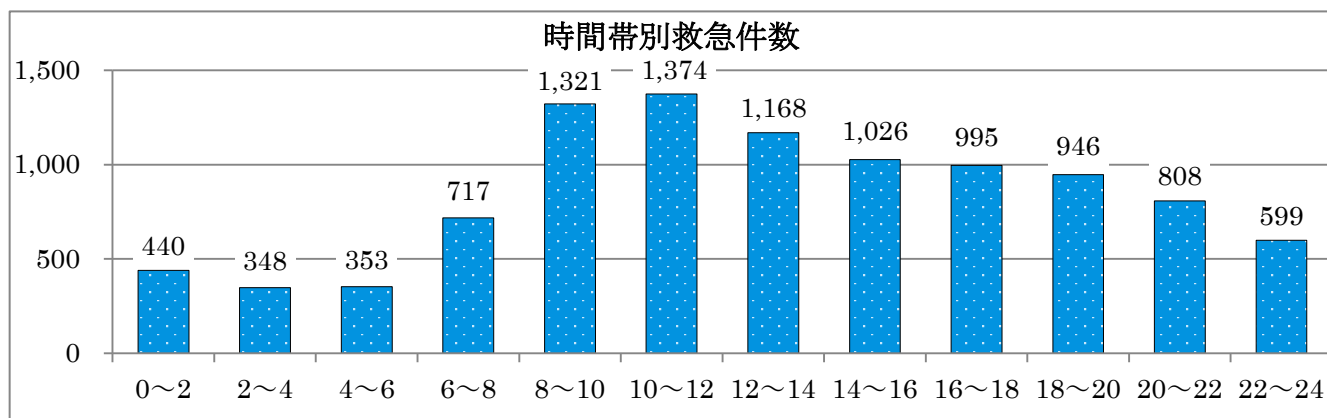
(6) 事故種別・曜日別出場状況及び搬送人員

事故種別 曜日別		計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
日	件数(件)	1,346	4			73	6	23	227	10	15	902	86
	人員(人)	1,066	1			40	5	21	175	7	12	739	66
月	件数	1,557	6		1	105	16	3	228	3	14	951	230
	人員	1,253	1			81	16	3	184	1	8	777	182
火	件数	1,478	10			93	15	2	214	4	8	933	199
	人員	1,205	5			71	14	3	171	4	4	777	156
水	件数	1,421	8		1	92	11	5	220	5	15	862	202
	人員	1,118	2			53	9	3	176	1	6	712	156
木	件数	1,407	3		1	83	17	2	213	6	19	855	208
	人員	1,120				58	17	2	186	3	14	684	156
金	件数	1,457	9		1	102	16	5	224	5	15	858	222
	人員	1,163	2		1	74	15	5	180	2	11	704	169
土	件数	1,429	8			98	13	12	255	4	21	877	141
	人員	1,158	3			75	12	11	205	5	11	715	121
合 計	件数	10,095	48		4	646	94	52	1,581	37	107	6,238	1,288
	人員	8,083	14		1	452	88	48	1,277	23	66	5,108	1,006



(7) 事故種別・時間帯別出場件数及び搬送人員

事故種別 時間帯別		計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
0～	件数(件)	440	1			10	1		55	9	8	323	33
	人員(人)	337	2			5	1		37	7	8	259	18
2～	件数	348	3			5			32	3	6	290	9
	人員	271				2			21	1	6	237	4
4～	件数	353				12	3		34	2	3	278	21
	人員	270				9	3		28	1	2	215	12
6～	件数	717	1		2	73	4		128		7	481	21
	人員	568				48	4		100		3	398	15
8～	件数	1,321	2			85	12	4	240	1	9	817	151
	人員	1,105				63	12	4	215		6	702	103
10～	件数	1,374	8		2	82	25	14	206	1	10	727	299
	人員	1,126	3		1	58	22	14	171	1	6	607	243
12～	件数	1,168	10			87	17	10	169	4	10	639	222
	人員	927	4			65	16	9	129	2	6	525	171
14～	件数	1,026	5			90	12	7	171	3	16	516	206
	人員	821	2			66	11	6	145	2	9	425	155
16～	件数	995	5			72	11	3	177		13	561	153
	人員	813	1			49	11	3	138		7	474	130
18～	件数	946	10			71	5	3	166	5	7	600	79
	人員	755	1			48	4	3	137	3	2	484	73
20～	件数	808	2			42	2	10	107	6	11	579	49
	人員	627	1			26	2	8	84	3	6	453	44
22～	件数	599	1			17	2	1	96	3	7	427	45
	人員	463				13	2	1	72	3	5	329	38
合計	件数	10,095	48		4	646	94	52	1,581	37	107	6,238	1,288
	人員	8,083	14		1	452	88	48	1,277	23	66	5,108	1,006

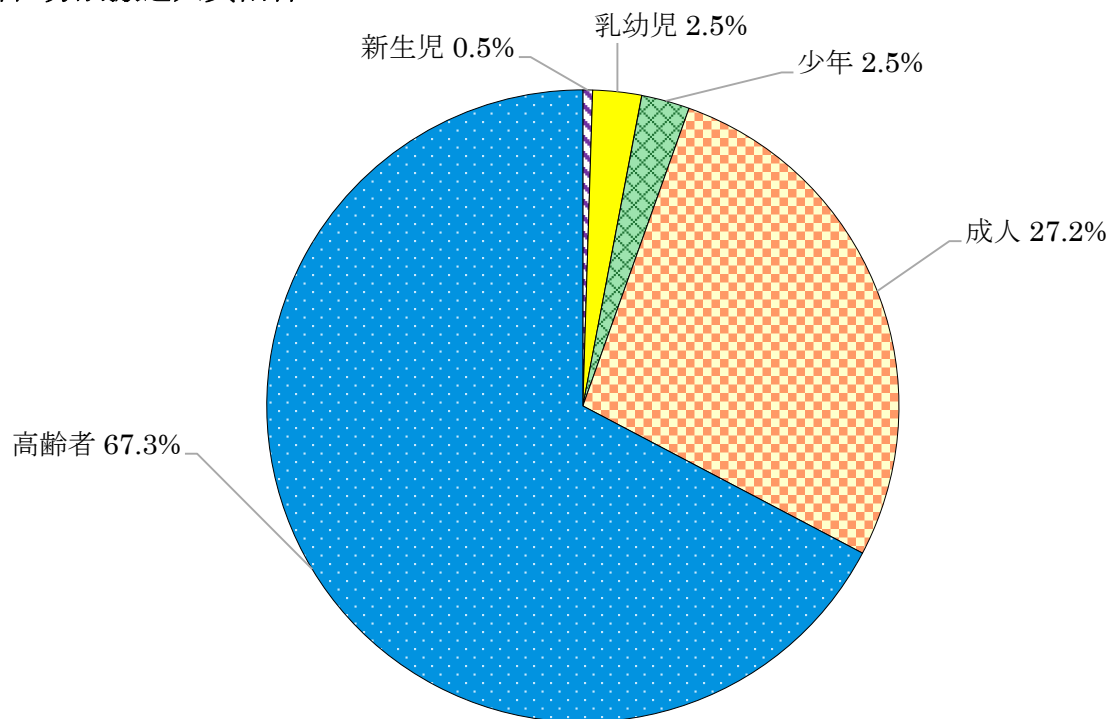


(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員

[単位：人]

事故種別 年齢区分	計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
新生児 (生後28日未満)	40										2	38
乳幼児 (7歳未満)	202	1			8			36			139	18
少年 (7歳～17歳)	199				34		26	28	4	5	94	8
成人 (18歳～64歳)	2,203	8			233	73	20	182	15	46	1,353	273
高齢者 (65歳以上)	5,439	5		1	177	15	2	1,031	4	15	3,520	669
合計	8,083	14		1	452	88	48	1,277	23	66	5,108	1,006
高齢者 割合 (%)	67	36		100	39	17	4	81	17	23	69	67

年齢区分別搬送人員割合



7 救助

市別 種別		宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
		出 動 (件)	活 動 (件)	救 助 人 員 (人)	出 動	活 動	救 助 人 員	出 動	活 動	救 助 人 員
火 災	建 物	2	2					2	2	
	建物以外									
交 通 事 故		35	21	28	10	8	10	45	29	38
水 難 事 故		3	1	1	1			4	1	1
風 水 害 自 然 災 害										
機械による事故					1	1	1	1	1	1
建物等による事故		7	7	7	2	2	2	9	9	9
ガス・酸欠事故					1	1	1	1	1	1
破 裂 事 故										
そ の 他 事 故		5	4	4	2	1	1	7	5	5
合 計		52	35	40	17	13	15	69	48	55

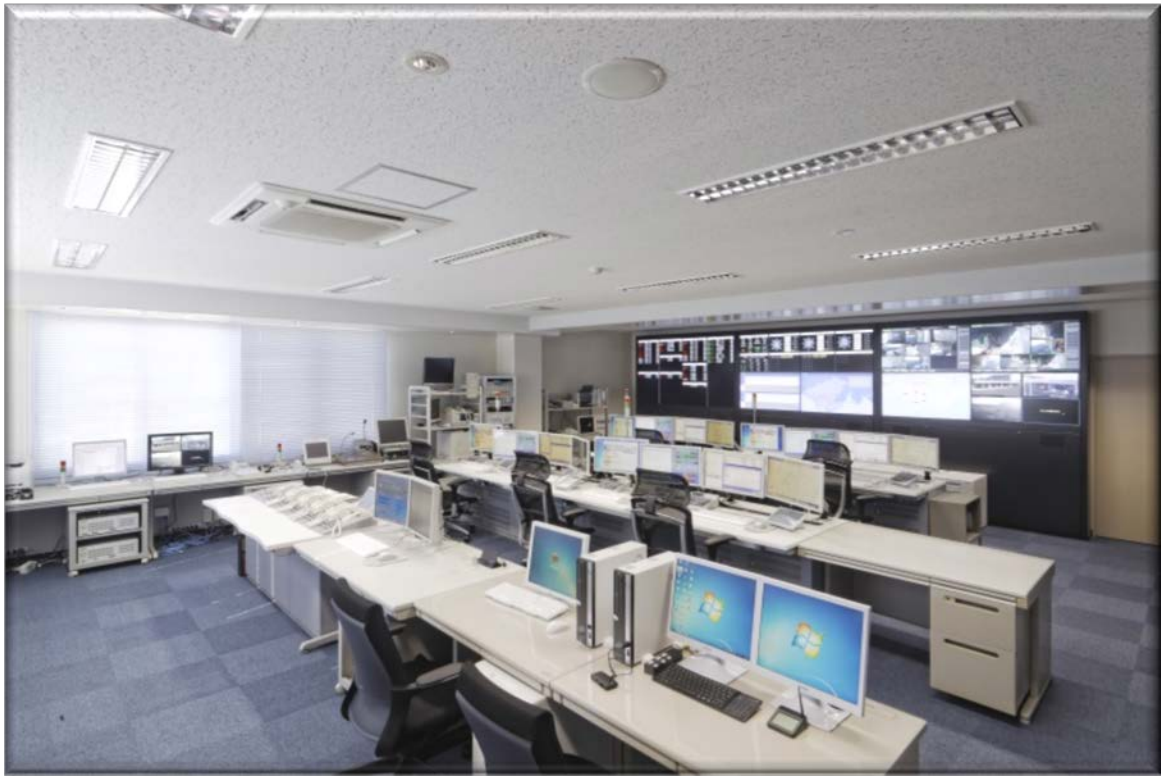
8 火災以外の出動

出動種別		月別												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
風水害等の災害	回数(回)						1	1	8		1			11
	人員(人)						5	3	24		3			35
火災原因調査	回数	4	8	6	3	5	2		6	3	1	5	2	45
	人員	27	45	24	10	24	7		27	14	2	20	10	210
特別警戒	回数													
	人員													
搜索	回数													
	人員													
誤報等	回数		2	4	1		1	2	2			1		13
	人員		25	25	6		3	18	11			3		91
救急補助	回数	125	91	102	99	83	95	106	76	95	76	109	133	1,190
	人員	374	260	301	311	266	282	305	220	282	217	319	399	3,536
その他	回数	31	18	14	14	17	16	12	13	18	18	26	19	216
	人員	124	87	46	48	82	88	39	46	67	87	84	108	906
合計	回数	160	119	126	117	105	115	121	105	116	96	141	154	1,475
	人員	525	417	396	375	372	385	365	328	363	309	426	517	4,778

9 救急講習（令和元年度中）

区分 受講者別	宇 部 市			山陽小野田市			合 計		
	講習 件数 (件)	受講 者数 (人)	指導 者数 (人)	講習 件数	受講 者数	指導 者数	講習 件数	受講 者数	指導 者数
普通救命 講習Ⅰ	77	1,533	162	36	700	73	113	2,233	235
普通救命 講習Ⅲ	2	35	3				2	35	3
上級救命 講習	4	12	7	12	42	24	16	54	31
応急手当 普及員講習 Ⅰ									
応急手当 指導員講習 Ⅰ	3	6	9	2	6	5	5	12	14
普通救命 講習Ⅰ (普及員)									
救命入門 コース	2	31	4	8	298	24	10	329	28
その他講習	17	726	29	20	778	35	37	1,504	64
合 計	105	2,343	214	78	1,824	161	183	4,167	375

情報指令



高機能消防指令センター

電話による119番通報のほか、メールやFAXを利用した通報にも対応可能で、通報受付から出動指示、現場到着までを迅速に行うことができます。また、高機能消防指令センターと出動部隊が各種情報を共有することで、的確な現場活動を行うことができます。



消防救急デジタル無線設備

消防救急デジタル無線設備の整備により、無線の秘匿性の向上、不感地帯の解消及びデータ送信を利用したシステムの活用等が可能となりました。

1 消防通信施設

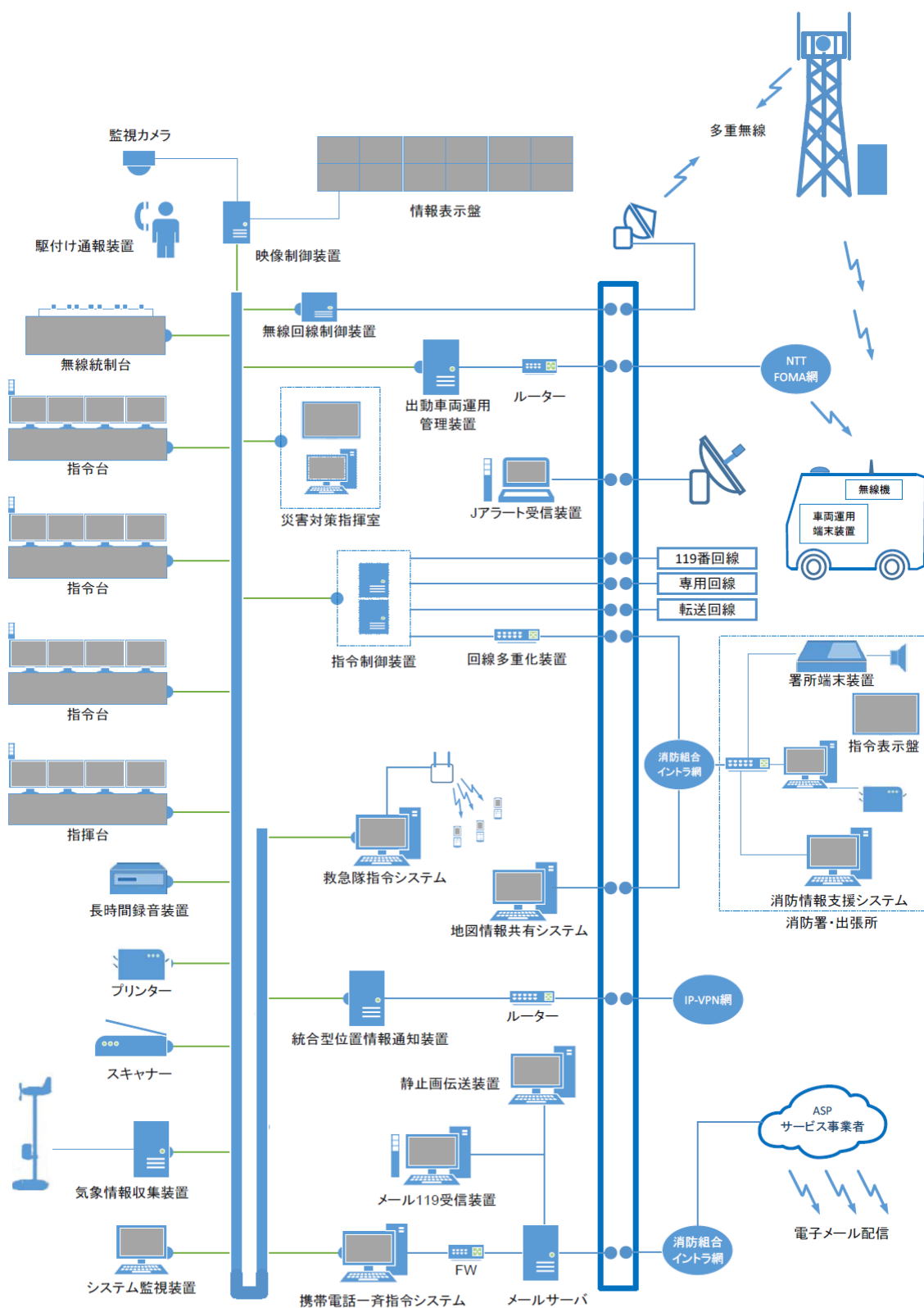
(1) 消防指令センター

機 器 名	数 量	設 置 年 月 日
高機能消防指令センター（Ⅱ型） 1. 指令装置 2. 指揮台 3. 表示盤 4. 無線統制台 5. 指令伝送装置 6. 気象情報収集装置 7. 災害状況等自動案内装置 8. 順次指令装置 9. 音声合成装置 10. 出動車両運用管理装置 11. システム監視装置 12. 地図検索装置 13. 統合型位置情報通知装置 14. 長時間録音装置 15. 自動出動指定装置 16. 駆け込み通報装置 17. 静止画像伝送装置	一式	平成 26 年 3 月更新
メール 1 1 9	一式	平成 26 年 3 月更新
F A X 1 1 9	一式	平成 26 年 3 月更新
動画像配信システム	一式	平成 28 年 9 月
山口県広域災害救急医療情報システム	一式	平成 26 年 8 月更新
山口県総合防災情報ネットワーク	一式	平成 20 年 3 月
宇部市防災用移動系無線(デジタル MCA 無線)システム	一式	平成 20 年 4 月

(2) 電話回線

回線 所属	119 回線 (IP含む)	携帯 119 着信	指令 回線	携帯 119 転送	加入 電話	FAX	緊急 通報	衛星 通信	高速 山陽道
消 防 局 中 央 署	5	2		2	8	4	2	1	1
東 部			1		1	1			
西 署			1		2	1			
北 部			1		2	1			
楠			1		1	1			
小野田署			1		3	1			
山 陽 署			1		2	1			
埴 生			1		1	1			
合 計	5	2	7	2	20	11	2	1	1

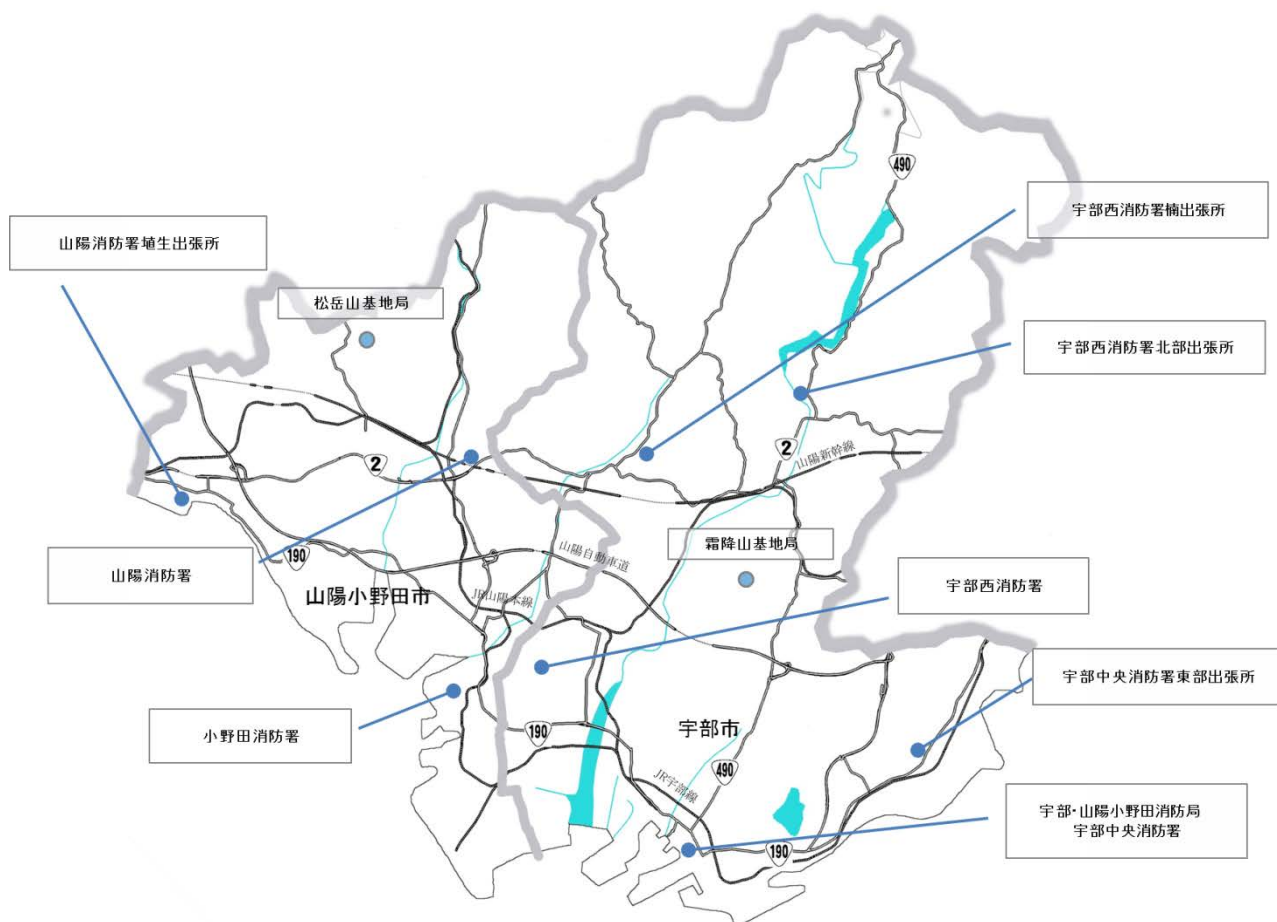
(3) システム構成図



(4) 自家用発電機

所 属	出 力	設置年月日
消 防 局	105KVA	平成 19 年 2 月
東 部 出 張 所	9.9KVA	平成 24 年 1 月
宇 部 西 消 防 署	9.9KVA	平成 22 年 6 月
北 部 出 張 所	9.5KVA	平成 25 年 12 月
楠 出 張 所	9.9KVA	平成 30 年 2 月
小 野 田 消 防 署	100KVA	平成 11 年 1 月
山 陽 消 防 署	35KVA	平成 25 年 3 月
埴 生 出 張 所	9.5KVA	平成 25 年 12 月
霜 降 山 基 地 局	15KVA	平成 25 年 12 月
松 岳 山 基 地 局	10KVA	平成 25 年 12 月

(5) 無線局

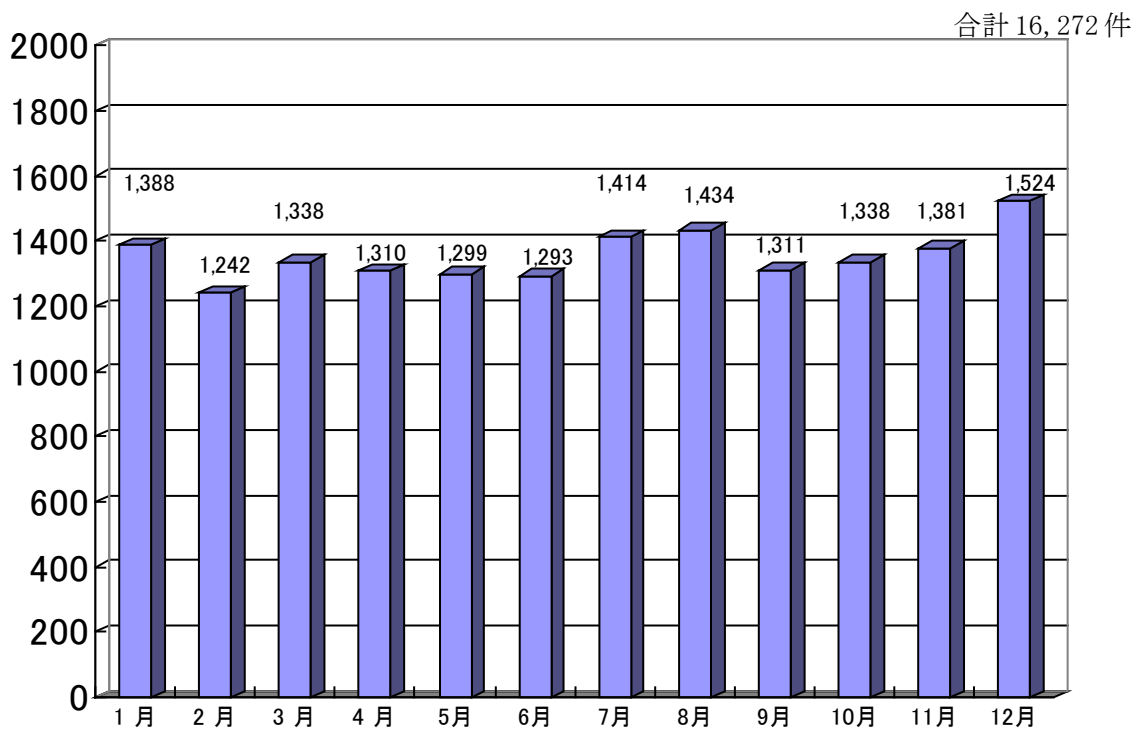


[単位：局]

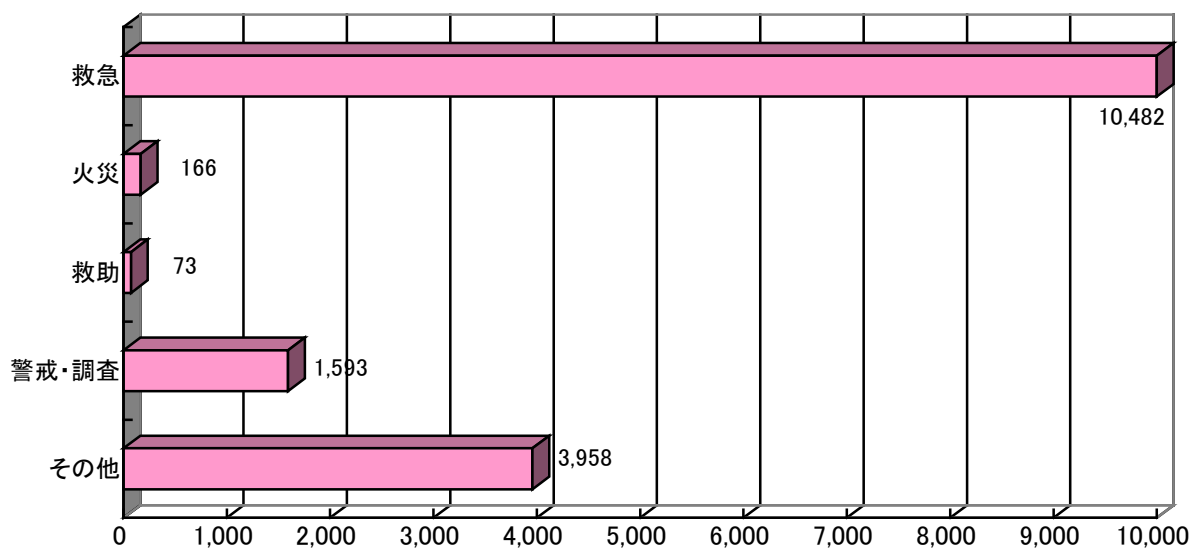
		消防局	霜降山	松岳山	中央署	東部	西署	北部	楠	小野田署	山陽署	榎生	合計
基地局 (固定局)		1 (1)	1 (1)	1 (1)							(1)		3 (4)
移動局	卓上型					1	1	1	1	1	1	1	7
	車載型	8			18	4	8	4	4	18	8	3	75
	携帯型	7			16	7	12	7	7	12	12	5	85
	可搬型				1					1			2

2 119回線着信件数

月別着信件数



種別毎着信件数(同報含む)



消 防 団

宇部市消防団

消防防災サポーター

地域防災の核となる人材育成を目指し、平成 29 年 1 月に発足した消防防災サポーターは大学生を対象とし、普通救命講習の受講、地域の防災訓練への参加、消防体験、消防団加入促進活動等を行っています。

この取組が多くの学生から共感を得られ消防団員の確保、消防団活動の理解、また、人材の育成及び地域防災力の強化に努めています。



山陽小野田市消防団

分団車両及び小型動力ポンプの更新

令和元年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業として、分団車両 1 台及び小型動力ポンプ 5 台を更新し、山陽小野田市消防団の装備を強化しました。

また、令和元年度は、総務省消防庁から無償貸付を受けた防災学習車の運用を開始しました。

最新の資機材を最大限に活用し、市民の安心・安全を守ります。



宇部市消防団 消防操法大会



山陽小野田市消防団 消防操法大会

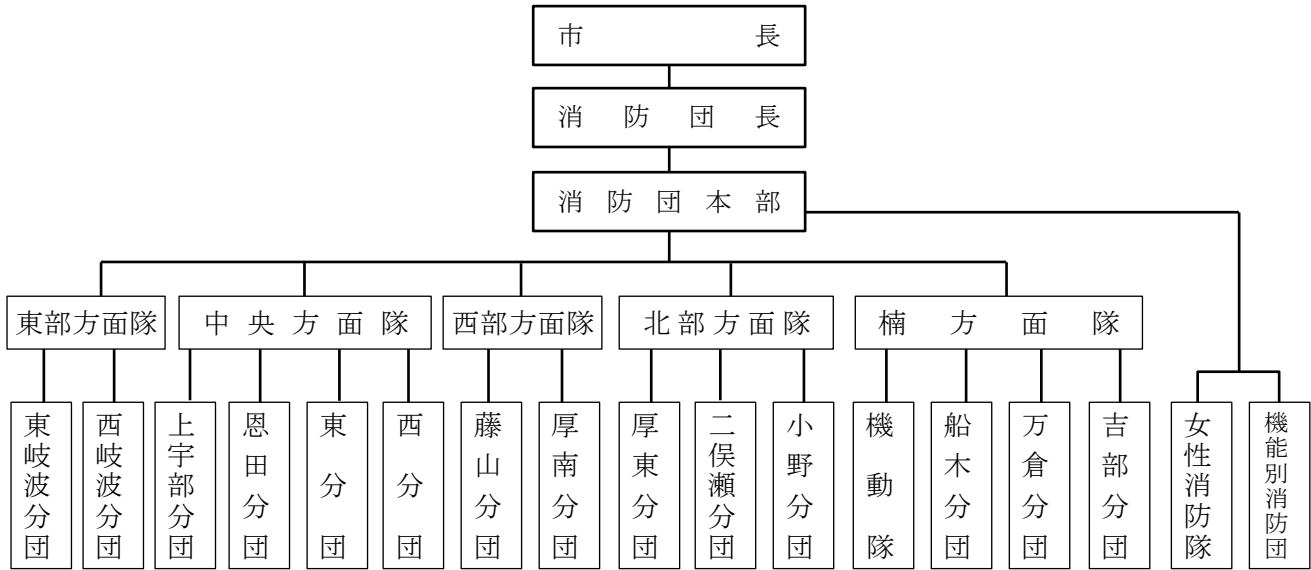


消防操法大会は山口県大会の予選を兼ねて毎年8月に開催します。宇部市は応急操法の部及び基本操法の部、また、女性消防隊が軽可搬ポンプ基本操法の部に出場しました。山陽小野田市は応急操法の部及び女性消防団員が軽可搬ポンプ基本操法の部に出場し、安全・確実・迅速をモットーに消防技術の練磨に励んでいます。

宇部市及び山陽小野田市ともに、山口県大会において毎年上位入賞するとともに、消防団をPRし“防火防災”を図っています。

1 消防団組織図

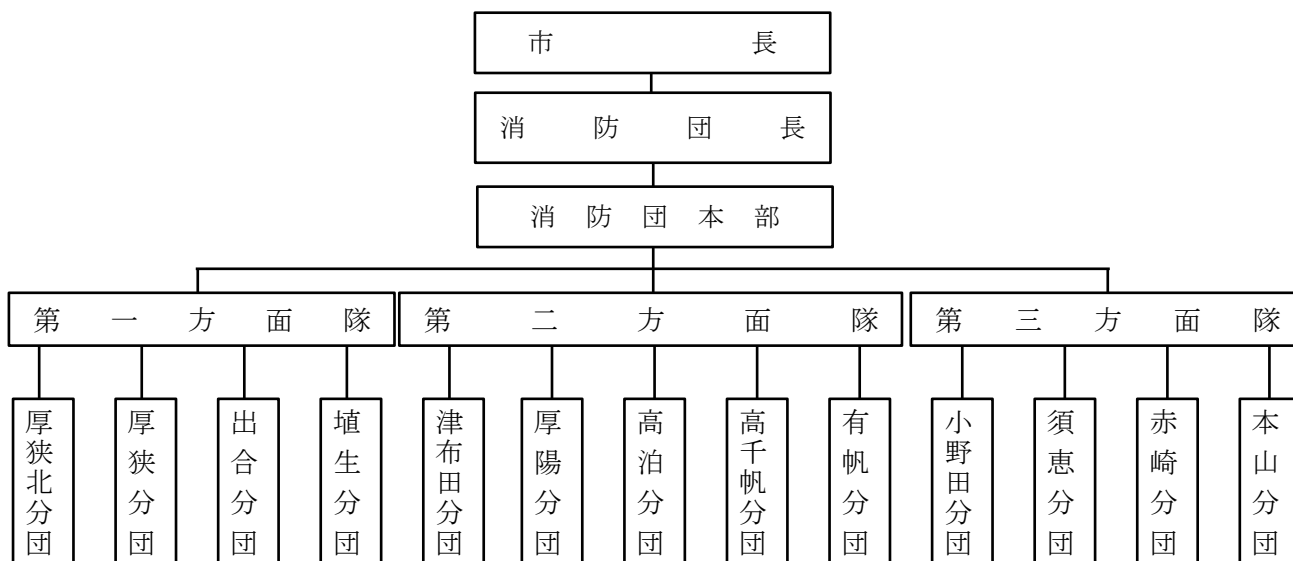
(1) 宇部市消防団



[単位：人]

消防団員定数表	所 属	消防団本部		東 部 方面隊		中 央 方面隊				西 部 方面隊		北 部 方面隊			楠 方面隊				合計
		機能別消防団	女性消防隊	東岐波分団	西岐波分団	上宇部分団	恩田分団	東分団	西分団	藤山分団	厚南分団	厚東分団	二俣瀬分団	小野分団	機動隊	船木分団	万倉分団	吉部分団	
定数	《定数》	100																	820
実員数	令和2年4月1日現在	73	12	53	66	31	23	27	27	28	72	31	29	63	17	39	23	37	694

(2) 山陽小野田市消防団



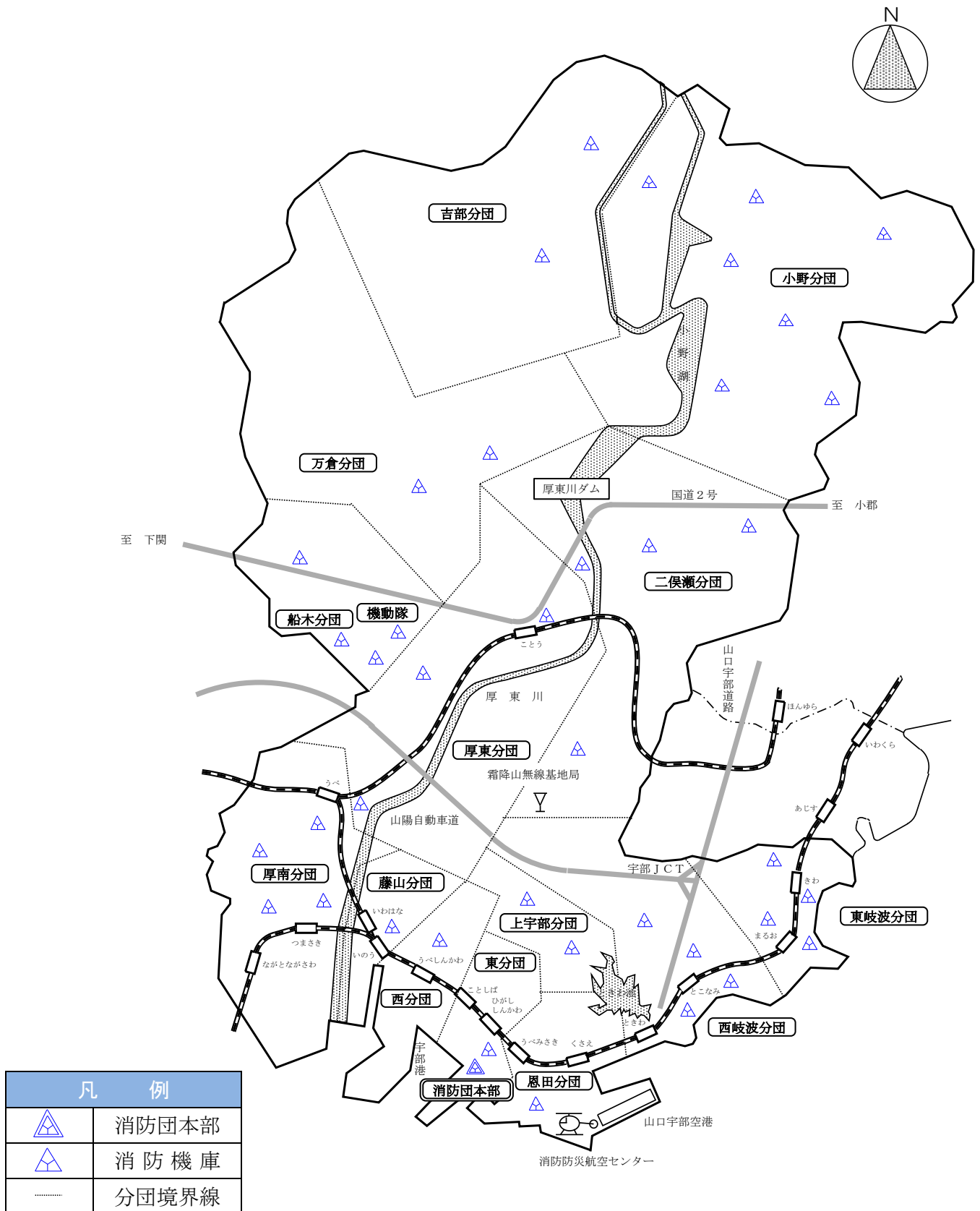
[単位：人]

消防団員 職階級	所 属	消 防 団 本 部	第一方面隊				第二方面隊					第三方面隊				合 計
			厚狭北分団	厚狭分団	出合分団	埴生分団	津布田分団	厚陽分団	高泊分団	高千帆分団	有帆分団	小野田分団	須恵分団	赤崎分団	本山分団	
			団 長	1												
方 面 隊 長 (副 団 長)	3	1(注)				1(注)					1(注)				3	
本 部 長 ま た は 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
副 本 部 長 ま た は 副 分 団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
部 長	5	3	4	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	36
班 長	9	5	7	3	7	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	58
団 員	51	30	42	19	42	19	19	19	19	19	19	19	23	19	359	
合 計	71	40	55	26	55	26	26	26	26	26	26	26	30	26	485	
実 員 数	本部/分団 令和2年4月1日現在	48 (32)	38	49	29	51	23	26	24	23	22	22	18	27	17	417 (32)

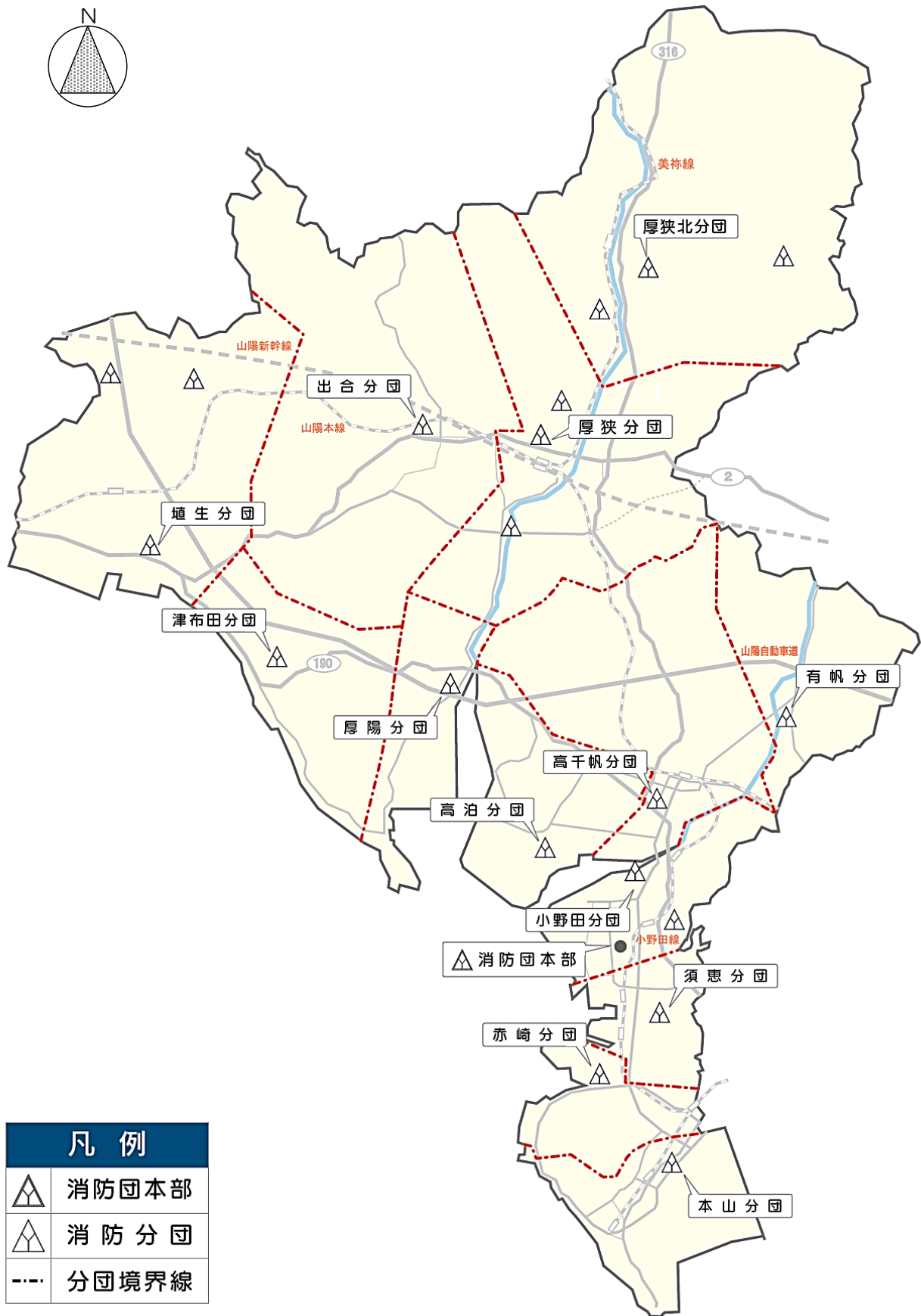
(注) 方面隊長は団本部に所属、また () 内は女性消防団員

2 消防団配置図

(1) 宇部市消防団



(2) 山陽小野田市消防団



3 消防団員階級別年齢

【宇部市消防団】

[単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							24	24
20 歳以上 25 歳未満							67	67
25 歳以上 30 歳未満							19	19
30 歳以上 35 歳未満						2	45	47
35 歳以上 40 歳未満						2	70	72
40 歳以上 45 歳未満					1	16	93	110
45 歳以上 50 歳未満					4	23	71	98
50 歳以上 55 歳未満			1	1	12	23	44	81
55 歳以上 60 歳未満			2	2	12	19	28	63
60 歳以上 65 歳未満		2	3	5	16	24	13	63
65 歳以上 70 歳未満		1	13	7	9	8	9	47
70 歳以上	1	1			1			3
合 計	1	4	19	15	55	117	483	694
平 均	73	68	64	63	58	53	31	43

【山陽小野田市消防団】

[単位：人]

年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
20 歳未満							4	4
20 歳以上 25 歳未満							29	29
25 歳以上 30 歳未満							35	35
30 歳以上 35 歳未満							39	39
35 歳以上 40 歳未満					1	3	46	50
40 歳以上 45 歳未満						7	53	60
45 歳以上 50 歳未満					4	15	50	69
50 歳以上 55 歳未満					6	9	20	35
55 歳以上 60 歳未満				3	7	11	9	30
60 歳以上 65 歳未満			5	5	8	7	10	35
65 歳以上 70 歳未満			8	6	7	3		24
70 歳以上	1	3	1		1		1	7
合 計	1	3	14	14	34	55	296	417
平 均	71	71	66	64	58	51	39	44

4 消防団員階級別勤続年数

【宇部市消防団】

[単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満					2		214	216
5年以上10年未満					2	6	102	110
10年以上15年未満					2	18	74	94
15年以上20年未満				1	4	24	37	66
20年以上25年未満			1	2	13	19	34	69
25年以上30年未満			3	1	8	33	15	60
30年以上35年未満		1	7	7	21	12	5	53
35年以上40年未満		3	5	2	2	5	1	18
40年以上45年未満			2	2	1		1	6
45年以上	1		1					2
合計	1	4	19	15	55	117	483	694
平均	52	35	32	30	25	22	5	13

【山陽小野田市消防団】

[単位：人]

勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
5年未満							100	100
5年以上10年未満					1		77	78
10年以上15年未満						9	53	62
15年以上20年未満					3	11	34	48
20年以上25年未満				3	8	12	18	41
25年以上30年未満			2	3	8	13	7	33
30年以上35年未満		1	4	2	4	6	4	21
35年以上40年未満		1	3	3	3	2	3	15
40年以上45年未満	1		4		7	1		13
45年以上		1	1	3		1		6
合計	1	3	14	14	34	55	296	417
平均	41	37	36	33	29	23	9	15

5 消防団員年報酬及び費用弁償

【宇部市消防団】

年 報 酬

[単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	12,000

費 用 弁 償

[単位：円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓 練	講 習
7,000	5,000	3,000

【山陽小野田市消防団】

年 報 酬

[単位：円]

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
金 額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

費 用 弁 償

[単位：円]

1 回 あ た り の 手 当 支 給 額		
出 動	訓 練 其 他 の 公 務	器 具 手 入 れ
7,000	5,300	1,200

6 消防団災害出動状況

【宇部市消防団】

分 団 名	出動件数 (件)	出動人員 (人)
消 防 団 本 部	15	44
東 岐 波 分 団	2	23
西 岐 波 分 団	3	35
上 宇 部 分 団	2	30
恩 田 分 団	0	0
東 分 団	0	0
西 分 団	0	0
藤 山 分 団	1	2
厚 南 分 団	3	58
厚 東 分 団	2	6
二 俣 瀬 分 団	1	7
小 野 分 団	4	75
機 動 隊	4	18
船 木 分 団	3	17
万 倉 分 団	1	8
吉 部 分 団	2	36
合 計	43	359

【山陽小野田市消防団】

分 団 名	出動件数 (件)	出動人員 (人)
消 防 団 本 部	2	2
厚 狭 北 分 団		
厚 狭 分 団		
出 合 分 団		
埴 生 分 団		
津 布 田 分 団		
厚 陽 分 団		
高 泊 分 団		
高 千 帆 分 団		
有 帆 分 団		
小 野 田 分 団	1	12
須 恵 分 団		
赤 崎 分 団	1	8
本 山 分 団		
合 計	4	22

7 消防団車両及び機械器具

(1) 配備管理状況

【宇部市消防団】

[単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	そ の 他 の 車 両 (指 令 車)	
消 防 団 本 部				1	2	
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿		1		
		丸 尾		1		
		岐 波 浦		1		
		前 田	1		1	
	西 岐 波 分 団	白 土	1		1	
		住 吉		1	1	
		山 村		1	1	
中 央 方 面 隊	上 宇 部 分 団	沼	1		1	
		開		1	1	
	恩 田 分 団		1	1		
	東 分 団	1		1		
	西 分 団	1		1		
西 部 方 面 隊	藤 山 分 団	1		1		
	厚 南 分 団	西 宇 部	1		1	
		妻 崎		1	1	
		中 野		1	1	
		東 割		1	1	
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井	1		1	
		駅 前		1	1	
		広 瀬		1	1	
	二 俣 瀬 分 団	木 田	1		1	
		車 地		1	1	
		上 山 中		1	1	
		善 和		1	1	
	小 野 分 団	下 小 野	1		1	
		上 小 野		1	1	
		市 小 野		1	1	
		楡 小 野		1	1	
		岩 川		1	1	
白 木			1	1		
大 山		1	1			

[単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	そ の 他 の 車 両 (指 令 車)	
楠 方 面 隊	機 動 隊	1		2	1	
	船 木 分 団	綿 屋 町		1	1	
		下 田 町		1	1	
		新 川		1	1	
	万 倉 分 団	栄 町		1	1	
		沼 田 ヶ 原		1	1	
	吉 部 分 団	中 市		1	1	
		荒 滝		1	1	
合 計		11 台	29 台	42 台	3 台	

【山陽小野田市消防団】

[単位：台]

所 属 / 機 庫		消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	そ の 他 の 車 両 (指 令 車 等)
消 防 団 本 部				3	2
第 1 方 面 隊	厚 狭 北 分 団	1		1	
	厚 狭 分 団	1		1	
	出 合 分 団	1		1	
	埴 生 分 団	1		1	
第 2 方 面 隊	津 布 田 分 団	1		1	
	厚 陽 分 団	1		1	
	高 泊 分 団	1		1	
	高 千 帆 分 団	1		1	
	有 帆 分 団	1		1	
第 3 方 面 隊	小 野 田 分 団	1		1	
	須 恵 分 団	1		1	
	赤 崎 分 団	1		1	
	本 山 分 団	1		1	
合 計		13 台		16 台	2 台

(2) 消防ポンプ自動車

【宇部市消防団】

所属 / 機庫			車名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポンプ 級別/製作所	導 入 年 月
東部方面隊	東岐波分団	前 田	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H27年2月
	西岐波分団	白 土	日 野 CD-1	4,000	5	A-2 モリタ	H22年2月
中央方面隊	上宇部分団	沼	いすゞ CD-1	4,777	6	A-2 吉 谷	H14年11月
	東 分 団		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H26年2月
	西 分 団		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23年12月
西部方面隊	藤山分団		いすゞ CD-1	4,330	8	A-2 吉 谷	H 7年3月
	厚南分団	西宇部	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H23年1月
北部方面隊	厚東分団	駅 前	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H 8年3月
	二俣瀬分団	木 田	いすゞ CD-1	4,570	8	A-2 モリタ	H 8年12月
	小野分団	下小野	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H28年1月
楠方面隊	機 動 隊		日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H28年1月

【山陽小野田市消防団】

所属 / 機庫		車名	排気量 (cc)	乗車 定員 (人)	ポンプ 級別/製作所	導 入 年 月
第 1 方面隊	厚狭北分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H20年12月
	厚狭分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月
	出合分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20年2月
	埴生分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月
第 2 方面隊	津布田分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月
	厚陽分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H20年2月
	高泊分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	R2年2月
	高千帆分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 日本機械工業	H28年2月
	有帆分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H19年3月
第 3 方面隊	小野田分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H27年3月
	須恵分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 モリタ	H22年3月
	赤崎分団	日 産 CD-1	4,770	7	A-2 モリタ	H15年3月
	本山分団	日 野 CD-1	4,000	6	A-2 吉 谷	H20年12月

(3) 小型動力ポンプ積載車

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫		車 名 / 型 式		排気量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	導 入 年 月	
東部方面隊	東岐波分団	古 殿	いすゞ	TPG-NLR85N	2,990	6	H31年3月
		丸 尾	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H20年12月
		岐波浦	ダイハツ	V-S110W	650	4	H10年11月
	西岐波分団	山 村	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H8年3月
		片 倉	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H12年3月
		住 吉	いすゞ	TPG-NLR85N	2,990	6	H31年3月
中央方面隊	恩 田 分 団	日 産	CBF-SQ2F24	1,990	6	R2年3月	
	上宇部分団	開	日 産	KG-SR8F23	3,150	6	H10年3月
西部方面隊	厚南分団	妻 崎	いすゞ	TPG-NJR85AN	2,990	6	H30年3月
		中 野	日 産	CBF-SQ2F24	1,990	6	R2年3月
		東 割	日 産	GBSK2F23	1,990	6	H8年3月
北部方面隊	厚東分団	棚 井	日 産	GB-SK2F23	1,990	8	H9年9月
		広 瀬	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H11年12月
	二俣瀬分団	車 地	いすゞ	BKG-NHS85A	2,990	6	H22年3月
		上山中	ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25年2月
		善 和	ダイハツ	V-S110P	650	4	H9年10月
	小野分団	上小野	ダイハツ	V-S110P改	650	4	H8年2月
		市小野	いすゞ	TPG-NHS85AN	2,990	6	H31年2月
		楡小野	日 産	ZD30	2,950	6	H20年2月
		岩 川	ダイハツ	GD-S210W	650	4	H14年2月
		臼 木	ダイハツ	GD-S210V改	650	4	H11年12月
大 山		ダイハツ	EBG-S331W	650	4	H25年2月	
楠方面隊	船木分団	綿屋町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18年2月
		下田町	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H18年2月
		新 川	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年3月
	万倉分団	栄 町	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21年12月
		沼田ヶ原	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年3月
	吉部分団	中 市	ダイハツ	EBD-S331W	650	4	H21年12月
		荒 滝	ダイハツ	LE-S330W	650	4	H17年3月

(4) 小型動力ポンプ

【宇部市消防団】

所 属 / 機 庫		ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	導 入 年 月	
消 防 団 本 部		トーハツ	一段タービン	D-1	H28年3月	
東 部 方 面 隊	東 岐 波 分 団	古 殿	ラビット	一段タービン	B-2	H31年3月
		丸 尾	トーハツ	一段タービン	B-2	H20年12月
		岐 波 浦	ラビット	一段タービン	B-3	H10年11月
		前 田	トーハツ	一段タービン	B-2	H27年2月
	西 岐 波 分 団	白 土	ラビット	一段タービン	B-2	H22年2月
		山 村	トーハツ	一段タービン	B-3	H 8年2月
		片 倉	ラビット	一段タービン	B-3	H14年2月
		住 吉	ラビット	一段タービン	B-2	H31年3月
中 央 方 面 隊	恩 田 分 団		トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年3月
	上 宇 部 分 団	沼	トーハツ	一段タービン	B-3	H14年11月
		開	シバウラ	一段タービン	B-2	H20年1月
	東 分 団		トーハツ	一段タービン	B-2	H26年2月
	西 分 団		ラビット	一段タービン	B-2	H23年12月
西 部 方 面 隊	藤 山 分 団		トーハツ	一段タービン	B-3	H 7年3月
	厚 南 分 団	西 宇 部	ラビット	一段タービン	B-2	H23年1月
		妻 崎	シバウラ	一段タービン	B-2	H30年3月
		中 野	トーハツ	一段タービン	B-2	R 2年3月
		東 割	トーハツ	一段タービン	B-3	H3年11月
北 部 方 面 隊	厚 東 分 団	棚 井	トーハツ	一段タービン	B-2	H 9年9月
		駅 前	ラビット	一段タービン	B-3	H 8年3月
		広 瀬	トーハツ	一段タービン	B-3	H 3年11月
	二 俣 瀬 分 団	木 田	ラビット	一段タービン	B-3	H 8年12月
		車 地	シバウラ	一段タービン	B-2	H22年3月
		上 山 中	トーハツ	一段タービン	B-2	H25年2月
		善 和	シバウラ	一段タービン	B-3	H10年10月
	小 野 分 団	下 小 野	トーハツ	一段タービン	B-2	H28年1月
		上 小 野	ラビット	一段タービン	B-3	H 7年2月
		市 小 野	トーハツ	一段タービン	B-2	H31年2月
		楡 小 野	ラビット	一段タービン	B-2	H20年2月
		岩 川	ラビット	一段タービン	B-3	H 4年12月
		白 木	ラビット	一段タービン	B-3	H 8年2月
		大 山	トーハツ	一段タービン	B-2	H25年2月
楠 方 面 隊	機 動 隊		トーハツ	一段タービン	B-2	H18年7月
			トーハツ	一段タービン	B-2	H28年1月
	船 木 分 団	綿 屋 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
		下 田 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
		新 川	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年3月
	万 倉 分 団	栄 町	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年12月
		沼 田 ヶ 原	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年12月
	吉 部 分 団	中 市	トーハツ	一段タービン	B-3	H21年12月
		荒 滝	トーハツ	一段タービン	B-3	H20年12月

【山陽小野田市消防団】

所 属 / 機 庫		ポ ン プ 製 作 所	型 式	級 別	導 入 年 月
消 防 団 本 部		ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	H10 年 1 月
		シ バ ウ ラ	一 段 タ ー ビ ン	D-1	H27 年 10 月
		ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	C-1	R2 年 3 月
第 1 方 面 隊	厚 狭 北 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	R2 年 2 月
	厚 狭 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	H30 年 2 月
	出 合 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	R2 年 2 月
	埴 生 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	R2 年 2 月
第 2 方 面 隊	津 布 田 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	R2 年 2 月
	厚 陽 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	R2 年 2 月
	高 泊 分 団	シ バ ウ ラ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	H28 年 2 月
	高 千 帆 分 団	シ バ ウ ラ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	H28 年 2 月
	有 帆 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	H27 年 3 月
第 3 方 面 隊	小 野 田 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	H30 年 2 月
	須 恵 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	H30 年 2 月
	赤 崎 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	H30 年 2 月
	本 山 分 団	ト ー ハ ツ	一 段 タ ー ビ ン	B-2	H30 年 2 月

(5) その他の車両

【宇部市消防団】

(指 令 車)

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排 気 量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	導 入 年 月
消 防 団 本 部	日 産	CBA-NC25	1,990	8	H18 年 2 月
	三 菱	DBA-CV5W	2,350	8	H29 年 12 月
機 動 隊	ス バ ル	TA-SG5	1,990	5	H14 年 12 月

【山陽小野田市消防団】

(指 令 車 ・ 防 災 学 習 車)

所 属 / 機 庫	車 名 / 型 式		排 気 量 (cc)	乗 車 定 員 (人)	導 入 年 月
消 防 団 本 部	ト ヨ タ	CBA-ANM10G	2,000	7	H17 年 2 月
消 防 団 本 部	日 産	LDF-CW8E26	2,480	6	R2 年 3 月

8 消防団機庫

【宇部市消防団】

所属 / 機庫		場所	土地 (㎡)	建物 (㎡)	建築 年 月	
東 部 方面隊	東岐波分団	古 殿	大字東岐波 494-4	96.64	25.63	S55 年 3 月
		丸 尾	大字東岐波 4138-13 の一部	32.96	11.93	S54 年 3 月
		岐波浦	大字東岐波 1450-2	63.94	15.44	H 4 年 12 月
		前 田	大字東岐波 1777	38.71	38.71	H27 年 2 月
	西岐波分団	白 土	床波四丁目 2076 他	327.69	83.22	H22 年 3 月
		住 吉	床波六丁目 3041-18・19	90.18	32.66	H 9 年 3 月
		山 村	大字西岐波 2478	300.00	30.48	H 6 年 3 月
片 倉		大字西岐波 5172-1	143.35	15.44	H10 年 1 月	
中 央 方面隊	上宇部分団	沼	沼二丁目 1669-3 の内	43.12	30.00	S48 年 12 月
		開	常盤台二丁目 834-1	194.00	30.18	H10 年 3 月
	恩 田 分 団	八王子町 636-9	126.24	30.00	S48 年 12 月	
	東 分 団	松山町二丁目 5-16	74.77	28.79	S32 年 11 月	
	西 分 団	島三丁目 1-9	383.47	83.22	H24 年 3 月	
西 部 方面隊	藤 山 分 団	文京町 2244-1	30.48	30.48	H 8 年 3 月	
	厚南分団	西宇部	西宇部南二丁目 1350-1	175.46	38.71	H23 年 3 月
		妻 崎	大字東須恵 2954-1	146.00	28.50	S47 年 2 月
		中 野	大字東須恵 276-4 の一部	218.60	33.84	H13 年 3 月
東 割		大字妻崎開作 1	111.09	22.21	S52 年 10 月	
北 部 方面隊	厚東分団	棚 井	大字棚井 43-3 の一部	56.61	26.14	H 8 年 3 月
		駅 前	大字吉見 966-12	79.25	30.48	H 7 年 4 月
		広 瀬	大字広瀬 560-1	11.46	11.46	S62 年 12 月
	二俣瀬分団	木 田	大字木田 560-3 の一部	22.21	22.21	S53 年 2 月
		車 地	大字木田 173	30.48	30.48	H 2 年 2 月
		上山中	大字山中 411-9	119.00	28.97	H15 年 12 月
		善 和	大字善和 108-2・5	135.80	15.44	H 9 年 3 月
	小野分団	下小野	大字小野 8265-22 の一部	71.70	30.48	S61 年 6 月
		上小野	大字小野 3677	13.20	12.67	S54 年 3 月
		市小野	大字小野 1305 第 1	30.00	22.90	S50 年 12 月
		楡小野	大字楡小野 534-2	38.50	21.00	S48 年 10 月
岩 川		大字小野 6731 第 3	53.03	17.80	H14 年 11 月	
白 木		大字小野 10139-2 の一部	11.46	11.46	S60 年 3 月	
大 山	大字小野 9129-2 の一部	15.44	15.44	H 4 年 12 月		

所属 / 機庫		場所	土地 (㎡)	建物 (㎡)	建築 年 月	
楠 方面隊	機 動 隊	大字船木 442-10	99.10	41.83	S58 年 3 月	
	船 木 分 団	綿屋町	大字船木 184	161.98	16.20	H12 年 3 月
		下田町	大字船木 690-5	147.16	18.25	H18 年 2 月
		新 川	大字船木 3648-1	801.90	20.22	H26 年 2 月
	万 倉 分 団	栄 町	大字西万倉 1698-1	413.96	52.54	S60 年 1 月
		沼田ヶ原	大字芦河内 11-6	213.00	25.20	H16 年 12 月
	吉 部 分 団	中 市	大字東吉部 3329-4	196.17	34.35	H13 年 11 月
		荒 滝	大字東吉部 1086	542.14	18.25	H14 年 3 月

【山陽小野田市消防団】

所属 / 機庫		場所	土地 (㎡)	建物 (㎡)	建築 年 月	
第1方面隊	厚狭北分団	厚狭北分団庫	大字厚狭 5112 番地 5(赤川)	287.18	67.50	H20年 3月
		赤川防災倉庫	大字厚狭 5723 番地 1(沓山田)	188.70	12.20	H1年 1月
		森広防災倉庫	大字厚狭 2708 番地 3(森広)	—	12.60	—
	厚狭分団	厚狭分団庫	大字鴨庄 99 番地 1、99 番地 2 の一部(千町5)	283.13	66.75	H28年 3月
		厚狭防災倉庫	大字鴨庄 98 番地 1(千町5)	—	78.00	S59年 12月
		鴨庄防災倉庫	大字鴨庄 590 番地 5(鴨庄西)	—	12.40	—
		下津防災倉庫	大字郡 2013 番地 5(西下津)	324.45	22.30	H3年 1月
	出合分団	出合分団庫	大字山野井 2743 番地(栗田)	167.71	49.95	H19年 3月
	埴生分団	埴生分団庫	大字埴生 525 番地 1(東側) 埴生支所併設	—	34.10	—
		福田防災倉庫	大字福田 777 番地 9(下福田)	55.10	24.00	S61年 3月
大持防災倉庫		大字埴生 3133 番地 5(大持)	94.53	17.50	H3年 12月	
第2方面隊	津布田分団	津布田分団庫	大字津布田 1061 番地(東郷)	436.75	31.05	H16年 11月
	厚陽分団	厚陽分団庫	大字郡 3976 番地 17(渡場)	282.00	49.95	H19年 3月
	高泊分団	高泊分団庫	大字西高泊 1768 番地 1(郷)	164.82	49.95	S61年 3月
	高千帆分団	高千帆分団庫	日の出一丁目 1 番 1 号(新生町 第一)山陽小野田市役所併設	—	58.48	H7年 3月
	有帆分団	有帆分団庫	新有帆町 739 番地 4(杵築)	174.25	52.65	S60年 3月
第3方面隊	小野田分団	小野田分団庫	栄町 7 番 3 号(栄町)	95.52	48.19	H2年 3月
		小野田防災倉庫	大字小野田 6114 番地 3(南中 川)	170.56	52.00	S55年 11月
	須恵分団	須恵分団庫	港町 7 番(港町)	267.40	61.84	H12年 2月
	赤崎分団	赤崎分団庫	赤崎一丁目 1 番 5 号(西の浜)	174.25	52.65	S60年 3月
	本山分団	本山分団庫	大字小野田 11967 番地(浜河 内)	498.31	52.00	S57年 12月

9 消防団協力事業所

【宇部市消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	山口県農業協同組合	平成22年3月1日
2	ルネサスセミコンダクタ マニファクチュアリング株式会社山口工場	平成22年3月1日
3	宇部興産株式会社 宇部ケミカル工場	平成22年3月1日
4	宇部マテリアルズ株式会社	平成22年3月1日
5	チタン工業株式会社	平成22年3月1日
6	宇部物流サービス株式会社 宇部営業所	平成22年3月1日
7	船木鉄道株式会社	平成22年3月1日
8	新川物流株式会社 西宇部営業所	平成22年3月1日
9	山口県漁業協同組合 宇部統括支店	平成23年3月1日
10	宇部フロンティア大学	平成30年3月1日
11	山口大学 工学部	平成30年3月1日



【山陽小野田市消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月日
1	THK株式会社 山口工場	平成23年3月18日
2	厚和産業株式会社	平成23年3月18日
3	日鍛バルブ株式会社 山陽工場	平成23年3月18日
4	化薬ヌーリオン株式会社 厚狭工場	平成23年3月18日
5	日本化薬株式会社 厚狭工場	平成23年3月18日
6	日産化学株式会社 小野田工場	平成23年3月18日
7	共英製鋼株式会社 山口事業所	平成23年3月18日
8	戸田工業株式会社 小野田事業所	平成23年3月18日
9	西部石油株式会社 山口製油所	平成23年3月18日
10	光洋技研株式会社 山口工場	平成29年3月17日
11	田辺三菱製薬工場株式会社 小野田工場	平成29年3月17日
12	長州産業株式会社	平成29年3月17日



【総務省消防庁消防団協力事業所一覧】

番号	事業所名	初年度登録年月
1	宇部フロンティア大学	平成31年2月
2	厚和産業株式会社	平成24年2月

消 防 年 報

(令和元年版)

発行日 令和 2 年 (2 0 2 0 年) 8 月

発行者 宇部・山陽小野田消防局
山口県宇部市港町二丁目 3 番 3 0 号

U R L <https://www.ube-sansho119.jp/>

E-M a i l soumu@ube-sansho119.jp

編 集 宇部・山陽小野田消防局 総務課
TEL(0836)21-6112 FAX(0836)31-0119

印 刷 宇部・山陽小野田消防局 総務課